

．資料編

- 1．収集資料
- 2．スライド
「ある生活改良普及員の一日」
- 3．ビデオ
「明日をつくる人々」
「生活と水」

2001年度(平成13年度)「農村生活改善協力のあり方に関する研究」収集資料一覧表

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究所/オリジナル)	入手元
1	生技研図書 -101	農業改良普及事業十周年記念事業協賛会	普及活動の記録	昭和33 (1958)年	農業改良普及事業十周年記念事業協賛会	普及活動の記録	コピー/冊子	生活技術研修館
2	生技研図書 -102	農林省農政局普及部	普及方法シリーズ/1 普及方法の原理	昭和40 (1965)年	(社)全国農業改良普及協会	普及活動の記録	コピー/冊子	生活技術研修館
3	生技研図書 -103	農林省農政局普及部	普及方法シリーズ/2 普及活動の計画	昭和41 (1966)年	(社)全国農業改良普及協会	普及活動の記録	コピー/冊子	生活技術研修館
4	生技研図書 -104	農林省農政局普及部	普及方法シリーズ/3 普及と農村社会	昭和42 (1967)年	(社)全国農業改良普及協会	普及活動の記録	コピー/冊子	生活技術研修館
5	生技研図書 -105	農林省農政局普及部	普及方法シリーズ/5 普及技術	昭和43 (1968)年	(社)全国農業改良普及協会	普及活動の記録	コピー/冊子	生活技術研修館
6	生技研図書 -106	農林省農政局普及部生活改善課	普及方法シリーズ/6 普及活動の評価	昭和44 (1969)年	(社)全国農業改良普及協会	普及活動の記録	コピー/冊子	水野正己氏(生活技術研修館)
7	生技研図書 -107	農林省農政局生活改善課編	農村に生きるわたくしたち	昭和39 (1964)年	農林省農政局生活改善課編	普及活動の記録	コピー/冊子	生活技術研修館
8	生技研図書 -108	農林省農政局生活改善課編	S45 研修テキスト 農山漁村生活改善関係の特別事業等について	昭和44 (1968)年	農林省農政局生活改善課編	普及活動の記録	コピー/冊子	生活技術研修館
9	生技研図書 -109	農林省農政局普及部生活改善課	専任資料 生活改善と農業改良の連携(農民生活普及専任)	昭和46 (1971)年	農林省農政局普及部生活改善課	普及活動の記録	コピー	生活技術研修館
10	生技研図書 -110	農家農村生活問題研究会/農林水産省農畜園芸局生活改善課(編集協力)	よりよいぐらうの原点を求めて 農村生活便覧	昭和51 (1986)年	創造書房	普及活動の記録	コピー	生活技術研修館
11	生技研図書 -111	水谷県録治	生活を育てる一農村を明るくするために	昭和44 (1968)年	富民協会	普及活動の記録	コピー	生活技術研修館
12	生技研図書 -112	山口県農林部普及教育課	農家生活改善士による魅力あるむらづくり シンポジウム記録『描こう!むらのおナイスプラン〜女性たちのむらづくり会議〜』	平成4 (1992)年	山口県農林部普及教育課	普及活動の記録	コピー	生活技術研修館
13	生技研図書 -113	農山漁村生活改善研究会編 農林省農政局生活改善課監修	まがりかどに生きる	昭和38 (1963)年	農山漁村生活改善研究会	普及活動の記録	コピー/原本	生活技術研修館

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
14	生技研図書 -1.1.4	全国農業共同組合中央会	生活改善ノート 3分の1 (No.1~10)	昭和37 (1962)年	全国農業共同組合中央会	農協運動を進める上で営農改善と生活改善の両活動のパラメータが必要との認識から、各農協において生活指導員の設置等体制整備がなされた。各指導員の権と横の連絡役を果たすものとして本ノートが発刊されるに至った。	コピー/冊子	高岡氏
15	生技研図書 -1.1.5	全国農業共同組合中央会	生活改善ノート 3分の2 (No.11~21)	昭和38 (1963)年	全国農業共同組合中央会	各指導員のパイプの役割を果たすものとして発刊されたノートの2刊目。家計簿、共同炊事、生活改善担当者研修等に関してまとめられている。	コピー/冊子	高岡氏
16	生技研図書 -1.1.6	全国農業共同組合中央会	生活改善ノート 3分の3 (No.25~32) No. 22~24次	昭和39 (1964)年	全国農業共同組合中央会	生活改善ノート3刊目。生活指導員の活動状況や調査研究資料が主に記述されている。	コピー/冊子	高岡氏
17	生技研図書 -1.1.7	東京学芸大学講師(青木好意)元東京都立農業学校校長(鈴木静徳)安田工業学校建築科長(高木元勝)静岡県小笠原郡南山村長(赤坂裕太郎)千葉大学校教授(穂坂八郎)共著	文部省検定教科書 農業工作	昭和25 (1950)年	実教出版	藤、竹、木等の細工方法及び簡易建築手法などが図解入りで説明されているテキスト。	コピー/図書	農林水産省農林水産研究所生活技術研修館図書室(高岡氏経由)
18	生技研図書 -1.1.8	茨城県農業改良事務局編	茨城県農業改良普及事業十年史	昭和34 (1959)年	茨城県農業改良事務局編	農業改良普及事業の発足から予算の経過、普及事業環境と技術の推移、実績事例等をまとめられている。	コピー/冊子	農林水産省農林水産研究所生活技術研修館図書室(高岡氏経由)
19	農政-1.0 1	農林省大臣官房総務課編	農林行政史 第十巻	昭和48 (1973)年	農林省大臣官房総務課	生活改良普及委員の組織体制と活動状況を因連させながら普及事業の概要を述べたもの。生活改善の目標、改善実績、グループ活動、密指導等の項目別にまとめられている。	コピー/図書	農林水産省農林水産研究所生活技術研修館図書室(高岡氏経由)
20	農政-1.0 2	榎井正久 監修/高山照夫 著者	日本農業教育史	昭和56 (1981)年	農山漁村文化協会	社会教育の民主化と農村教育の動向及び課題について述べられたもの。	コピー/図書	農業政策研究所図書館
21	農政-1.0 3	農林省総興局生活改善課	農家生活白書	昭和37 (1962)年	大蔵省印刷局	農林省が全国の生活改善普及組織の協力を得て農家の生活の現状並びに問題の所在を調べた結果をまとめたもの。	コピー/図書	水野正己氏(農業政策研究所図書館)
22	農政-1.0 4	鯉淵学園二十一年史編集委員会編	鯉淵学園二十一年史	昭和42 (1967)年	鯉淵学園	全国農業会高等農業講習所として昭和20年に創設された本学園の20年記念史。学校の沿革、歴史、教育理念と実践等がまとめられている。	コピー/図書	農業政策研究所図書館
23	農政-1.0 5	Jean A. S. Ritchie著/加藤勝三・長寿賀雄訳	「各種の実例：教育による食生活改善の進め方」『FAO(世界食糧農業機構)栄養叢書 第6号 食生活改善 その計画と進め方 [良い栄養の教え その進め方と教え方の技術]』 第7章 pp.155-75	昭和29 (1953)年	高橋書店	イラン、グアテマラ、オランダ、プエルトリコ、ジャマイカ等の農業のやり方の実例の紹介。	コピー/図書	農業政策研究所図書館
24	農政-1.0 6	大橋敏雄	「日本における栄養改善」、Jean A. S. Ritchie著/加藤勝三・長寿賀雄訳 第6号 食生活改善 その計画と進め方 [良い栄養の教え その進め方と教え方の技術]』 第8章 pp.176-84	昭和29 (1954)年	高陽書院	明治時代以降の日本人の食生活の沿革及び栄養改善の計画と実施に関する小論文。	コピー/図書	農業政策研究所図書館

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
25	食協-10-1	西山雄次 編	栄養指導車の"しおり" 第一集	昭和31(1956)年	財団法人日本食生活協会	栄養価、献立、調理法に関する情報を簡潔にやさしい言葉でまとめたもの。キッチンカーでの実演の際に利用し、パンフレットのよう な冊子になっている。	コピー/冊子	財団法人日本食生活協会
26	食協-10-2	西山雄次 編	栄養指導車の"しおり" 第二集	昭和32(1957)年	財団法人日本食生活協会	同上の昭和32年版、プラス在る地域の婦人会の事例が掲載されている。	コピー/冊子	財団法人日本食生活協会
27	食協-10-3	財団法人日本食生活協会	わたしは栄養指導車	昭和33(1958)年	財団法人日本食生活協会	栄養指導車の設備及び当時の活動状況をパンフレット形式でまとめたもの。写真、図表入り。	コピー/冊子	財団法人日本食生活協会
28	食協-10-4	財団法人日本食生活協会	財団法人日本食生活協会のあゆみ	昭和62(1987)年	財団法人日本食生活協会	同上の昭和32年版、プラス在る地域の婦人会の事例が掲載されている。	コピー/冊子	財団法人日本食生活協会
29	食協-10-5	財団法人日本食生活協会	栄養指導車のあゆみ	1961年	財団法人日本食生活協会	栄養指導車の歴史、活動状況、指導の際に配布した資料がまとめられている。	コピー/冊子	財団法人日本食生活協会
30	食協-10-6	財団法人日本食生活協会	ゆたかな食生活への道 栄養指導車のしおり 台本No.1(昭和41年、42年、43年度分)	昭和41(1966)～昭和43(1968)年	財団法人日本食生活協会	栄養価、食品加工、献立等の改訂点や様々な情報を写真等の図表入りで解説、提供するもの。	コピー/冊子	財団法人日本食生活協会
31	食協-10-7	財団法人日本食生活協会	ゆたかな食生活への道 栄養指導車のしおり 台本No.2(昭和44年、45年、46年度分)	昭和44(1969)～昭和46(1971)年	財団法人日本食生活協会	同上の昭和44～46年版	コピー/冊子	財団法人日本食生活協会
32	食協-10-8	日本栄養新報社	栄養新報 (第380号)	昭和55(1970)年6月5日(木曜日)	日本栄養新報社	調理技術認定制度発表、国民健康作り計画に関する座談会(厚生省公衆衛生局長大谷藤郎氏と日本食生活協会会長松谷満子氏)の新聞記事。	コピー/新聞	財団法人日本食生活協会
33	食協-10-9	松谷満子	食生活改善推進員の歩み	発行年不明	発行所不明	日本食生活協会発足からの活動状況をまとめた論文。キッチンカーの運行、食生活指導員の歩み等の項目がある。英訳もあり(小林花訳)。	コピー(PAX)/不明	西田氏
34	食協-10-10	財団法人日本食生活協会	キッチンカー(スライド23枚)	発行年不明	財団法人日本食生活協会	キッチンカーが菓子を巡回し、講義を実施する様子がスライドでわかりやすく、具体的に理解できる。	スライド/コピー/スライド	財団法人日本食生活協会
35	生技研図書-119	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館	生活技術研修館の菜	発行年不明	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館	技術研修館の概要が写真と共に記載されたパンフレット	冊子(川合館長の名刺を添付)/冊子	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
36	生技研図書-120	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館より～六本木からの発信～ 第4号	平成12(2000)年	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館	生活関係専門技術員専門研修の内容(普及指導活動、労働衛生等)、農林水産省職員研修内容が簡潔に記されている。パンフレット形式。	冊子/冊子	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
37	生技研図書-121	梅根精	問題解決学習	昭和29(1954)年	誠文堂新光社	問題解決的思考の説明が教育・心理学・指導などの観点からなされている。	コピー/図書	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
38	生技研図書-122	農林省農業改良局生活改善課 編	生活改善シリーズ2 農家の台所改善—設計の仕方と事例—	発行年不明	木曜社	事例を紹介しつつ、設計に至るまで詳細に改善方法が記されたもの。	コピー/冊子	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
39	生技研図書-123	農林省振興局普及部生活改善課	昭和32年度 生活改善専門技術員中央研修会記録	発行年不明	農林省振興局普及部生活改善課	生活改良普及員の活動方法、技術の程度、生活調査方法等の把握の仕方、指導方法に關してまとめたもの。	コピー/図書	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
40	生技研図書-124	生活改善課	展示実驗施設と生活技術担当専門技術員の仕事の仕方 専門技術員養成研修会資料	昭和34(1959)年	発行所不明	生活改善展示実驗施設の内容、施設運営、生活技術担当専門技術員の仕事(位置付け、実務結果の利用の仕方)についてまとめたもの。	コピー/冊子	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究所有/コピー/不明)	入手元
41	生技研図書 -125	農林省農蚕園芸局普及部生活改善課	生活改良普及員海外研修報告1号	昭和51(1976)年	農林省農蚕園芸局普及部生活改善課	生活改良普及員4名がアメリカ研修に行った際の記録(1975年9月1日～10月5日)。アイオワ州、ウインストン、ウエストバトラー、ワシントンD.C.において各州立大学・農務省を中心にアメリカの普及事業について研修を受けている。	コピー/不明	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
42		50周年記念誌編集委員会	21世紀に翔く 共同農業普及事業50周年記念誌	平成10(1998)年	北海道改良普及職員協議会	共同農業普及事業の50周年を記念し、北海道の普及事業のこれまでの歩み、今後の活動への提言、及び現状について整理したもの。	図書	小林
43		全国農業協同組合連合会	第6回全国青年・女性農業交流大会資料(分科会別活動実績発表全文)―食糧・環境、日本の農業を次代へ!―	平成13(2001)年	全国農業協同組合連合会	酒業者の活動実績を公表する全国大会の報告書。各自の発表内容全文が掲載。	冊子	小林
44	農政-107	農林省農業改良局普及部 編	『生活改善』『ラヂオ放送原稿集(十一月 十二月)第八號』pp.25-36	昭和24(1949)年	農林省農業改良局普及部	ラヂオで放送された内容の原稿集。寒さの準備、燃料の使い方、工夫、結核と迷信、性病の知識等に関するもの。	コピー/不明	農業政策研究所図書(水野正己氏)
45	生技研図書 -126	農林省生活改善課 編	農家の生活改善	昭和31(1956)年	農林省生活改善課	昭和28年夏に開催された生活改良普及員の長期講習会に出席した普及員と農林省担当者が協力して作成した台所改善案を中心に全国各地の台所平面図を修正して補足し、編まれた参考書(農家の台所改善設計向け)	カラーコピー/図書	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
46	生技研図書 -127	農林省生活改善課編	Home Improvement Extension Service in Japan	昭和31(1956)年	農林省生活改善課	日本の農村の生活改善状況をまとめた英語版(写真付き)。台所・栄養改善、普及員等にかんする活動がまとめられている。	カラーコピー/図書	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
47	生技研図書 -128	農林省振興局生活改善課	生活改善グループの動き	昭和33(1958)年	農林省振興局生活改善課	生活改善グループの活動状況を地域別に紹介したもの(写真付き)。大阪、熊本、青森、山梨、長野県等。	カラーコピー/図書	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
48	生技研図書 -129	農林省振興局生活改善課	現地における生活の改善	昭和34(1959)年	農林省振興局生活改善課	日本の農村における生活改善の実態の姿を4つ(健康で働ける勤労者、生活の充実、養育、民主的な社会)に絞って紹介したもの(写真付き)。	カラーコピー/図書	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
49	生技研図書 -130	農林省農政局生活改善課・農産課	現地における農家生活改善資金の活用	昭和41(1966)年	農林省農政局生活改善課・農産課	昭和39年から発足した住宅改善に対する無利子無担保の農家生活改善資金の融資制度の貸付が行われた事例の紹介(昭和39年度分)	カラーコピー/図書	農林水産省農林水産研修所生活技術研修館図書室
50		ヴァージニア・M・オールソン/ジョセフィン・ケアー 編(訳者不明)	Guide to Nurse in the Health Center 保健婦指導教本	昭和26(1951)年	メヂカルフレンド社(復刻:平成11年 国際協力事業団)	沖縄の地域保健のあり方に関するマニユアル。独自の活動がなされているという沖繩にJICA専門家が赴き、探して来た本の複製版である。	図書/図書	JICA:山形洋一氏より佐藤寛入手
51	岩手-101	森嘉兵衛 監修/岩手県 編	『(10)農業改良、生活改善推進員の設置』「岩手県農業史」第5章 指導奨励及び教育 p.623	昭和54(1979)年	熊谷印刷出版部	岩手県農業史の中の「指導奨励と教育」の章に生活改良普及員の設置に関する記述があり、それを抜粋したもの。	コピー/図書	農業政策研究所図書
52	岩手-102	宮坂忠夫 編・著	地域保健と住民参加	昭和58(1983)年	第一出版	「人びとは、自分(達)のヘルス・ケアの企画と実施(実践)に対し、個人としてまた集団として、参加(参画)する権利と義務を持つ。」というアルマ・スタ宣言を基に、その権利と義務を果たすための地域保健計画への住民参加のあり方に関する研究をまとめた書。	コピー/図書	千葉大学附属図書館(西千葉)

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
53	岩手-1 03	菊地武雄 著	自分たちで生命を守った村 (岩波新書 668)	昭和43 (1968)年	岩波書店	健康的で住みやすく、人間としての生活ができる村造りを目指した沢内村政の、歩みとそとの障害について述べた著。	コピー/図書	農業政策研究所図書館
54	岩手-1 04	細井計 監修/沢内村史編纂 委員会 編	沢内村史 上巻	平成 3(1991)年	岩手県沢内村	村制百年を記念し、「沢内村史資料」を基に刊行された村史。村の概説、歴史(近世まで)がまとめられている。	図書/図書	沢内村役場
55	岩手-1 05	細井計 監修/沢内村史編纂 委員会 編	沢内村史 下巻	平成 6(1994)年	岩手県沢内村	沢内村の歴史(近代)・民俗がまとめられている。	図書/図書	沢内村役場
56	岩手-1 06	細井計 監修/沢内村史編纂 委員会 編	沢内村史 資料編	平成 6(1994)年	岩手県沢内村	年表、学校・郵便局の沿革、参考文献等が整理されている。	図書/図書	沢内村役場
57	岩手-1 07	沢内村総務課	広報さわうち200号記念 縮刷版 広報さわうち	昭和 52(1977)年	岩手県沢内村	昭和30～51年までの沢内村総務課発行の「広報さわうち」の縮刷版。	図書/図書	沢内村役場
58	岩手-1 08	沢内村役場企画調整課	広報さわうち縮刷版(II)	平成 4(1992)年	岩手県沢内村	「広報さわうち」の縮刷版。	図書/図書	沢内村役場
59	岩手-1 09	沢内村教育委員会	豊かな自然、保健のふるさと-沢内村制 百周年記念誌-	平成元 (1989)年	岩手県沢内村	町村制が施行された明治22年から100年間の沢内村の変遷を、自然、災害、行政、生活環境、教育文化、産業経済の分野ごとにまとめたもの。(資料、写真多し。)	図書/図書	沢内村役場
60	岩手-1 10	沢内史談会 編	沢内年代記(総集編)	平成 12(2000)年	沢内村教育委員会	沢内年代記には幾種かの異本があるので、「奥郷本」、「下本中」、「白木野本」の三系統に大別し、それぞれ比較しながらまとめたもの。	図書/図書	沢内村役場
61	岩手-1 11	高橋善二	沢内村郷土史シリーズ 第四集 沢内の 民話	昭和 41(1966)年	沢内村教育委員会	昭和30年10月～昭和39年5月まで「広報さわうち」に連載された、沢内村の伝説まとめたもの。	図書/図書	沢内村役場
62	岩手-1 12	沢内村郷土史研究会 編/泉 川正 訳	沢内村郷土史シリーズ 第九集 沢内風 土記	昭和 50(1975)年	沢内村郷土史研究会	宝暦半間に、現在の沢内村湯田町に流刑されたいた、宮古の氏族、高橋子爵による、当地の気候、地理、動植物、民俗などの記述の現代語訳。	図書/図書	沢内村役場
63	岩手-1 13	泉川 淳一 著/沢内村郷土 史研究会 編	沢内村郷土史シリーズ 第十集 沢内村 の医縁史	昭和 51(1976)年	沢内村郷土史研究会	旧南部藩の頃から第二次世界大戦までの沢内村の医縁史を整理したもの。	図書/図書	沢内村役場
64	岩手-1 14	千葉末吉 著/沢内村郷土史 研究会 編	沢内村郷土史シリーズ 第十二集 雑書 にみる沢内	昭和 63(1988)年	沢内村郷土史研究会	寛永21(1644)～天保11(1840)年までの『盛岡藩雑書』(盛岡藩家老席の執務日誌)の中の、沢内に関する記事754件を整理したもの。	図書/図書	沢内村役場
65	岩手-1 15	千葉末吉・沢内村郷土史研究 会 編	沢内村郷土史シリーズ 第十三集 覚書 にみる澤内	平成元 (1989)年	沢内村郷土史研究会	文政13(1830)～明治3(1870)年までの『盛岡藩覚書』(盛岡藩家老による藩行政日誌)の中の、沢内に関する記事393件を集めたもの。	図書/図書	沢内村役場
66	岩手-1 16	高橋武雄・高橋一雄 編/大 山隆弘 編集協力	沢内村郷土史シリーズ 第十四集 陸羽大 地蔵百年記念誌録集 地底咆哮から百年 [陸羽大地蔵と川舟断層の記録]	平成 8(1996)年	沢内村教育委員会	明治29年8月31日に発生した陸羽大地蔵とそれによって発生した川舟断層に関する、当時の資料を収集し、まとめたもの。	図書/図書	沢内村役場
67	岩手-1 17	太田祖電・駒田進・田中ト シ・上坪陽	沢内村奮戦記 住民の生命を守る村	昭和58 (1983)年	あけび書房	太田祖電村政当時の村役場関係者が中心となって、沢内村の生命行政の哲学とその実践を巡るドラマを書き著したものの。	図書/図書	沢内村役場
68	岩手-1 18	及川和男	村長ありき 沢内村 深沢最雄の生涯	昭和 59(1984)年	新潮社	深沢村長のライビヒストリー。学生時代の恋愛から、乳児死亡率半減を達成した「偉人伝」的なエピソードまでを、沢内村社会自体の特徴に触れつつ描いている。	図書/図書	沢内村役場

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
69	岩手-1 1 9	BPLPP-JICA	AGRICULTURAL EXTENSION ACTIVITY	昭和57 (1982)年	BPLPP-JICA	インドネシアでのJICA支援の農業研修・普及プロジェクトにおいて作成された。普及員の任務を具体的に描いたスライド。オリジナルはインドネシア語。今回の保存は日本語版と英語版。	コピー/スライド・カセット・解説	小田島正雄氏
70	岩手-2 2 0	BPLPP-JICA	POST HARVEST	昭和56 (1981)年	BPLPP-JICA	インドネシアでのJICA支援の農業研修・普及プロジェクトにおいて作成されたスライド。オリジナルはインドネシア語。今回の保存は日本語版と英語版。	コピー/スライド・カセット・解説	小田島正雄氏
71	岩手-2 2 1	岩手県農業改良普及会	通巻500号記念誌 月刊 農業普及 第42巻 第12号 (通巻500号)	平成2 (1990)年	岩手県農業改良普及会	巻頭グラビア：写真で見える岩手の戦後農業史(pp.5-52)。(生活改善普及事業に直接関わる写真は無いが、生活の様子は見取れる。)	コピー/雑誌	小田島正雄氏
72	岩手-2 2 2	佐々木徳朗	写真集 百班日記 気仙沼水梨40年の記録	平成8 (1996)年	発行所不明	自分自身、農家であるアマチュア写真家の気仙沼市水梨地区の40年間に渡る生活の記録。	コピー/図書	小田島正雄氏
73	岩手-2 2 3	佐々木徳朗	写真集 ふるさとの萱葎き屋根 気仙沼市水梨地区の記録	平成10 (1998)年	発行所不明	筆者のふるさと気仙沼市水梨地区における、昭和32(1957)年から平成10(1998)年までに撮影した萱葎き屋根の記録。	コピー/図書	小田島正雄氏
74	岩手-2 2 4	(社) 全国農業改良普及協会	共同農業普及事業50周年記念誌 写真集 写真でたどる農業と普及事業の50年	平成10 (1999)年	共同農業普及事業50周年記念会	昭和28年から始められた、国の補道府県の共同農業普及事業50周年の記念として、50年間の普及事業の足跡と農業の変遷をまとめた写真集。	コピー/図書	小田島正雄氏
75	岩手-2 2 5	岩手県(編集委員：菊地五郎、小田島正雄、齋藤吉弘、桑原いと子)	普及員の体験・20年の記録	昭和43 (1968)年	岩手県農業改良普及会	農業改良助長法制定20周年を記念して編集された、岩手県の農業改良普及員及び関係者の体験集。	図書・コピー/図書	小田島正雄氏
76	岩手-2 2 6	岩手県「農家と共に」編集委員	農業改良普及事業創設20周年記念誌 農家と共に	昭和43 (1968)年	岩手県	農業改良助長法制定20周年を記念して整理された、岩手県の農業改良普及事業のあゆみ。	図書/図書	小田島正雄氏
77	岩手-2 2 7	村崎協40周年記念誌編集委員会 編	沢内村婦人連絡協議会創立40周年記念誌	平成6 (1994)年	岩手県沢内村婦人連絡協議会	沢内村婦人連絡協議会創立40周年の祝辞、及び婦人会創立・運営に関わった人々の感想文。	コピー/図書	浦川ツヤ子普及員
78	岩手-2 2 8	著者・編者不明	長瀬野生活改善グループ	発行年不明	発行所不明	長瀬野集落の婦人会(生活改善グループ)の、昭和38~48年の生活改善活動記録。主に、当時の資料と議事録、および原稿等。	コピー/資料ファイル	浦川ツヤ子普及員
79	岩手-2 2 9	北上農業改良普及センター/湯田地域普及所	北上・西和賀の農業	発行年不明	発行所不明	西和賀地区の農業の特徴を、データを交えて説明したパンフレット	パンフレット/パンフレット	浦川ツヤ子普及員
80	岩手-3 3 0	新集落移転10周年記念事業記念誌編集委員会	しんしゅうらく 新集落移転10周年記念事業記念誌	昭和56 (1981)年	発行所不明	写真や年表等でみる長瀬野新集落移転10年間の軌跡。集落の各世帯が感想を寄せている。	コピー/図書	照井汎氏
81	岩手-3 3 1	新集落移転20周年記念事業記念誌編集委員会	しんしゅうらく 新集落移転20周年記念事業記念誌	平成3 (1991)年	発行所不明	写真や年表等でみる長瀬野新集落移転20年間の軌跡。集落の各世帯が感想を寄せている。	コピー/図書	照井汎氏
82	岩手-3 3 2	著者・編者不明	わが家の生活設計	発行年不明	発行所不明	「生活設計書」のフォーマットと記入の仕方が付記されている。	コピー/冊子	岩手調査にて
83	岩手-3 3 3	岩手県農業青年教育協議会	農業青年の意識調査について	昭和42 (1967)年 10月	岩手県農業青年教育協議会	農業青年に対する農業経営に関わる意識調査の調査票。	コピー/不明	岩手調査にて
84	岩手-3 3 4	岩手県	月刊いわて '72-7	昭和47 (1972)年 7月	岩手県	グラフ「農山漁家の生活を改善する」として県内の生活改善事業の事例を紹介。	コピー/図書	岩手調査にて

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
85	岩手-1 3 5	岩手県農家生活研究会	水田農作地帯における家事労働の合理化に関する研究 - 第一報 概要報告書	昭和42 (1967) 年 3月	岩手県農家生活研究会	生活改善が未だ浸透の農村を対象にして、家事労働の合理化を阻む生産・生活構造の実態を検討している。	コピー/不明	岩手調査にて
86	岩手-1 3 6	岩手県	農業改良普及事業の現状と課題	発行年不明	岩手県	農業改良普及事業25周年につき、事業の発足と経過、発展と課題について言及。	コピー/不明	岩手調査にて
87	岩手-1 3 7	岩手県農山漁家生活改善実行グループ連絡研究会	生活改善実績発表二十周年記念誌 年輪 - 豊かさを知恵の輪と縁と縁にたくして -	昭和48 (1973) 年 7月	岩手県農山漁家生活改善実行グループ連絡研究会	生活改善実績発表二十周年にあたり、岩手県内各グループによる自己グループ活動の事例紹介。	コピー/不明	岩手調査にて
88	岩手-1 3 8	岩手県農務部農業改良課	『生活改良普及員用資料ハンドブック』(テキスト部活字)	発行年不明	岩手県農務部農業改良課	衣食住関係、寝具、家庭管理技術、普及指導方法に関する生活改善普及員用ハンドブック。	コピー/不明	岩手調査にて
89	岩手-1 3 9	岩手県農務部農業改良課	『生活改良普及員用資料ハンドブック』(テキスト部活字)	発行年不明	岩手県農務部農業改良課	普及方法、食改善、農家計を中心とした生活改良普及員用ハンドブック。	コピー/不明	岩手調査にて
90	岩手-1 4 0	著者・編者不明	調査票原簿	発行年不明	農産課生活改善係	家族、農業経営、生活、住宅等に関する調査票。	コピー/不明	岩手調査にて
91	岩手-1 4 1	著者・編者不明	調査票原簿	発行年不明	発行所不明	家族、農業経営、労働、保健衛生、衣類、食事、住宅等に関する調査票。	コピー/不明	岩手調査にて
92	岩手-1 4 2	岩手県普及農業改良普及所金子秀	漁家担当普及員現地検討会資料 一才前後のレギンスの作り方	発行年不明	岩手県普及農業改良普及所	一才前後のレギンスの演示意義と作り方紹介。	コピー/不明	岩手調査にて
93	岩手-1 4 3	岩手県	プログラムの実行資料	発行年不明	岩手県	事例を用いた生活改良普及員の生活改善実施マニュアル。	コピー/不明	岩手調査にて
94	岩手-1 4 4	岩手県農産課	共同炊事実施状況報告書	昭和35 (1960) 年	岩手県農産課	県内30グループ・部落で実施された共同炊事の実施概況に関する報告書。	コピー/不明	岩手調査にて
95	岩手-1 4 5	著者・編者不明	「農家を明るくする相談会」実施後の部落の状況	昭和35 (1960) 年	発行所不明	農産課の実施状況・結核に関する改善事例を紹介。	コピー/不明	岩手調査にて
96	岩手-1 4 6	沢内村	第5回沢内村健康管理研究会資料	昭和38 (1963) 年 12月	沢内村	沢内村の健康概況および健康管理方式の紹介。	コピー/不明	岩手調査にて
97	岩手-1 4 7	岩手県農業改良課	健康なくらし 農業者健康生活管理特別事業実績	昭和42(1967)年以降数年	岩手県農業改良課	沢内村を対象地域として、2年間にわたる生活改善事業(生活設計書の作成と指導)の効果を測定している。	コピー/冊子	岩手調査にて
98	岩手-1 4 8	岩手県農山漁村住宅改善推進協議会	農山漁村 住宅平面図集	昭和44 (1969) 年 3月	岩手県農山漁村住宅改善推進協議会	住宅平面図一覽表・図集および岩手県農山漁村住宅設計指針の紹介。	コピー/不明	岩手調査にて
99	岩手-1 4 9	岩手県和賀郡沢内村役場	沢内村管内図	平成8 (1996) 年	岩手県和賀郡沢内村役場	主な土地利用方法が判る、地図。	地図/地図	岩手調査にて
100	岩手-1 5 0	沢内村・沢内村商工会	さわうちガイドマップ	発行年不明	沢内村・沢内村商工会	観光者向け、沢内村紹介パンフレットと地図。	パンフレット/パンフレット	高橋英子主査
101	岩手-1 5 1	沢内村役場総務課	さわうち 雪国の創造 要覧(ダイジェスト版)	平成13 (2001) 年	岩手県沢内村	観光者向け、沢内村紹介パンフレット。	パンフレット/パンフレット	高橋英子主査
102	岩手-1 5 2	著者・編者不明	書名不明	発行年不明	発行所不明	濃密指導地域(岩手県内)における事業の実施計画、普及方法の事例紹介。	コピー/不明	岩手調査にて
103	岩手-1 5 3	岩手県農業改良課	生活改善資料(シート形式)	発行年不明	岩手県農業改良課	「おそろしい回叫」、「ちつと油をどりましよう」、「冷えと岩手県農家の住まい」、「ゆつくり休める寝室を」、「母屋にも清潔をつくりましよう」、「肌着はいつとも清潔に」、「働きやすい台所」、「電気洗濯機をつかい方」、「農業用食生活のポイント」、「家族の生活時間配分設計試案」他29タイトル	コピー/不明	岩手調査にて

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
104	新潟-1-0 1	新潟県農業技術課	改良季報 Vol.1.4 No.3 (抜粋)	昭和38年 (1963)	新潟県農業技術課	西島さんが生改になられた直後2年間の日記からの抜粋が掲載。(pp.69-74、旧姓の渡辺から、新米生改さんとしての悩みを協力隊員も共感できるかも。	コピー/冊子	西島氏から矢敷が入手
105	新潟-1-0 2	新潟県農林部農業技術課	のびゆく農業改良集団 (抜粋)	昭和41 (1966)	新潟県農林部農業技術課	昭和40年に活動していた新潟県内農業改良グループの専門技術員調査記録。	コピー/冊子	西島氏から矢敷が入手
106	新潟-1-0 3	大磯敏雄	「キッチンカーが走るまで」 医師葉出版『臨床栄養』Vol.11 No.6 12月号(通巻70号) pp.24-6 栄養行政戦後10年の歩み	昭和32 (1957)	医師葉出版	昭和29年～30年8月14日までの回顧録。昭和31年10月10日に8名の栄養指導者が導入されるまでのこの経緯。	コピー/雑誌	和田氏が入手
107	新潟-1-0 4	太幸ふみ	「20周年に寄せて」『20周年記念誌みやぎの市町村栄養士活動 あゆみとこれから』 pp.10-11、pp.78-81、pp.96-101	平成3年 (1991)	宮城県栄養士設置市町村連絡協議会 設立20周年記念誌編集委員会	栄養士の活動年表をはじめ、宮城県の栄養改善の概要がわかる資料のコピー。元宮城県食生活改善推進員連絡協議会長の太幸ふみ氏が「20周年に寄せて」という題で、元大和町保健婦長の佐藤さと子氏が「思い出の栄養指導車」という題で、それぞれ文章を寄せている。	コピー/雑誌	和田氏が入手
108	新潟-1-0 5	社団法人 愛知県栄養士会	50年史 社団法人 愛知県栄養士会 pp.46-51、pp.152-3	平成7 (1995)	社団法人 愛知県栄養士会	愛知県職員である栄養士の方々の回顧録と愛知県栄養士会の年表。キッチンカーをはじめ、栄養政策の変遷がよく分かる。	コピー/雑誌	和田氏が入手
109	新潟-1-0 6	社団法人 福井県栄養士会	社団法人設立10周年記念誌あゆみ pp.26-35 あゆみと栄養関係年表	平成7 (1995)	社団法人 福井県栄養士会	(会) あゆみと栄養関係年表は、写真付きで往時の様子が分かります。	コピー/雑誌	和田氏が入手
110	新潟-1-0 7	岡山栄養学研究者の会編	おかやまの栄養 pp.12-19、pp.48-9、pp.52-3、pp.58-61、pp.80-3、pp.130-3、pp.140-5、pp.152-3	平成2 (1990)	「おかやまの栄養」編集委員会	岡山と全国の栄養・食生活年表をはじめ、当時の人々の回顧録で岡山の栄養行政史を振り返る。	コピー/雑誌	和田氏が入手
111	新潟-1-0 8	厚生省公衆衛生局栄養課編	「栄養及び食生活改善実践地区組織の育成について」及び「栄養指導推進指導について」栄養指導業務必携 pp.81-91	昭和39 (1964)	社団法人日本栄養士会	食生活改善事業における指導時の資料として、「栄養及び食生活改善実践地区組織育成の手引き」を紹介し、自発的な食生活改善のための住民組織の育成方法を紹介。また、指導を効果的なものにするための栄養指導車の運営規則も紹介。	コピー/雑誌	和田氏が入手
112	新潟-1-0 9	大阪府立生活改善相談所 川口多津子、桜井弘子、中野恭子	2. 栄養改善普及におけるキッチンカーの位置『栄養士会雑誌』特集第2回栄養改善学会発表集録 pp.12-3	昭和30 (1955)	栄養改善学会	キッチンカーがつくられた理由や活動内容、今後の展望についてまとめたもの。	コピー/雑誌	和田氏が入手
113	新潟-1-1 0	社団法人日本栄養士会	84 農繁期の栄養摂取と疲労軽減について(熊本・人吉保健所)、85 農繁期の栄養摂取と疲労軽減について(熊本、人吉保健所) 87キッチンカーに依る食生活アンケート(東京・都立公衆衛生部)『日本栄養士会雑誌 第6号』 pp.64-5	昭和31 (1956)	社団法人日本栄養士会	農家の生活の実態とその改善点を各保健所がまとめたもの。	コピー/雑誌	和田氏が入手
114	新潟-1-1 1	社団法人日本栄養士会	「日本栄養士会の活動111」『栄養士への道』	昭和63 (1988)	社団法人日本栄養士会	長野県の栄養士会の活動紹介。	コピー/雑誌	和田氏が入手
115	新潟-1-1 2	社団法人日本栄養士会	「栄養改善普及運動の歩み」『栄養日本 Vol.1 No.8月号 pp.17-9	昭和33 (1988)	社団法人日本栄養士会	昭和24年から始まった栄養改善普及運動の10年間のあゆみ。	コピー/雑誌	和田氏が入手

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
116	新潟-1-1 3	松谷満子	「活躍する栄養指導員」『栄養日本 Vol.1 No.1 1月号 pp.12-3	昭和33 (1958)年	社団法人日本栄養士会	昭和31年10月10日の日比谷公園での出 発式以降1年間の栄養改善車の業績のまと め。P.13には、各地での活動実績表。	コピー/雑誌	和田氏が入手
117	新潟-1-1 4	大磯敏雄	「昭和33年度栄養改善事業に望む」 『栄養日本 Vol.1 No.4 4月号 pp.2-3	昭和33 (1958)年	社団法人日本栄養士会	キッチンカーが婦人団体に及ぼした影響は大 きいが、今後は、国ではなく、地方自治体で の新造が目指されていることが告げられてい る。また、栄養士の資質を高めることが急務 であるという。	コピー/雑誌	和田氏が入手
118	新潟-1-1 5	大磯敏雄	「昭和33年度栄養改善及び食生活改善事業 の実施方針について」『栄養日本 Vol.1 No.4 4月号 pp.2-3	昭和33 (1958)年	社団法人日本栄養士会	この年の事業の柱は、I. 栄養改善対策、 II. 保健所の整備拡充、III. 特定多数人に対 する給食施設の指導推進、IV. 特定栄養食品 の普及、V. 調査統計資料の報告、VI. 栄養士 養成制度の強化の6つである。	コピー/雑誌	和田氏が入手
119	新潟-1-1 6	大磯敏雄	「栄養欠陥多発地区の対策について」 『栄養日本 Vol.1 No.8 8月号 pp.26-7	昭和33 (1958)年	社団法人日本栄養士会	厚生省が発表した「栄養欠陥地区特別対策」 の説明。全国28の都道府県が指定され、3カ 年計画で栄養指導に力が注がれる。	コピー/雑誌	和田氏が入手
120	新潟-1-1 7	社団法人日本栄養士会	「うごき」『栄養日本 Vol.1 No.8 8月号 号 pp.26-7	昭和33 (1958)年	社団法人日本栄養士会	全国の栄養改善事業関連の動きを報告。新たに 4台が新造され、合計12台となった栄養 改善車の出発式典が33年8月11日に開催さ れたことなどが紹介されている。	コピー/雑誌	和田氏が入手
121	新潟-1-1 8	社団法人日本栄養士会	「通牒」『栄養日本 Vol.1 No.8 8月号 pp.28-9	昭和33 (1958)年	社団法人日本栄養士会	昭和33年10月1〜10日まで予定されていた栄養 改善普及運動実施要綱を掲載。	コピー/雑誌	和田氏が入手
122	新潟-1-1 9	社団法人日本栄養士会	「うごき」『栄養日本 Vol.1 No.10 10 月号 pp.26-7	昭和33 (1958)年	社団法人日本栄養士会	全国の栄養改善事業関連の動き。東京衛研生 局が新造した2代目の栄養指導車が写真付き で紹介されている。	コピー/雑誌	和田氏が入手
123	新潟-1-2 0	有本邦太郎	3. 指導の技術と方法 (9) キッチン カー 『要説 栄養指導』 p.140-1	昭和44 (1969)年	光生館	キッチンカーの説明概略	コピー/雑誌	和田氏が入手
124	新潟-1-2 1	厚生省公衆衛生局栄養課編	第2章 栄養教育と指導者の訓練 第4 節 栄養教育活動 『栄養改善とその活 動』 pp.26-29	昭和31 (1956)年	第一出版	栄養教育のあり方を述べた上で、実施主体 (厚生省、都道府県、保健所)別に栄養教育 の現状を紹介している。	コピー/図書	和田氏が入手
125	新潟-1-2 2	健康づくり指針編集委員会	栄養士活動の50年と健康づくり - 新た な活動をめざして - (部分抜粋)	平成6 (1994)年	神奈川県保健所栄養士研 究会・神奈川県衛生部	神奈川県での栄養改善の歴史をまとめたもの。 イラストが多用されている。	コピー/図書	和田氏が入手
126	新潟-1-2 3	浜嘉代治	第3章 栄養改善における啓蒙と指導の 具体的方法 4.4. 広範囲車などによる啓蒙 指導 『栄養指導の実技』 pp.138-41	昭和34 (1959)年	第一出版	「この自動車(キッチンカー)の運営は、お そらく一定の型の中では成功しないものと考 えられる。・・・多角的に即時的な変化に富 んだ運営が必要である」と指摘している。	コピー/図書	和田氏が入手
127	新潟-1-2 4	社団法人滋賀県栄養士会	瀬尾一かいつ - 社団法人設立10周年 記念誌 pp.12-5, pp.67-75	発行年不明	発行所不明	大正時代から昭和40年までの滋賀県栄養行政 のあゆみ。写真多し。	コピー/図書	和田氏が入手
128	新潟-1-2 5	社団法人茨城県栄養士会	南木 法人設立十周年 茨城県栄養士会 五十周年記念 pp.20-3, pp.46-7	平成8 (1998)年	社団法人茨城県栄養士会	昭和24〜41年までの茨城県栄養士会の活動年 表と、元会長たちの草創期の活動を振り返る 座談会。	コピー/図書	和田氏が入手
129	新潟-1-2 6	社団法人富山県栄養士会	創立50周年記念誌 pp.18-33, pp.60-3, pp.100-3	平成7 (1994)年	社団法人富山県栄養士会	昭和20〜54年の富山県栄養士会の活動の記録 と今後の栄養士の展望。	コピー/図書	和田氏が入手
130	新潟-1-2 7	群馬の栄養改善史編集委員会	創立40周年記念誌 群馬の栄養改善史 pp.84-91	平成元 (1988)年	社団法人群馬県栄養士会	群馬の栄養改善史の中で導入された各事業に ついて解説。	コピー/図書	和田氏が入手
131	新潟-1-2 8	社団法人大分県栄養士会	ゆたか 大分県栄養士会創立50周年 社 団法人設立10周年記念誌 pp.26-9	平成11 (1999)年	社団法人大分県栄養士会	昭和25〜37年の県の栄養士会の活動年表。	コピー/図書	和田氏が入手

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
132	新潟-1.2 9	社団法人青森県菜蓴士会	50年のあゆみ 青森県菜蓴士会創立50周年 法人歌立10周年記念誌 pp.16-7, pp.90-1	平成12 (2000)年	社団法人青森県菜蓴士会	県の菜蓴士会の活動の記録。写真多し。	コピー/図書	和田氏が入手
133	新潟-1.3 0	大阪市保健所菜蓴士会	あゆみ pp.26-29, pp.98-103	昭和61 (1986)年	大阪市保健所菜蓴士会	県の菜蓴士会の活動の記録。料理講習会テキストのサンプリング掲載。	コピー/図書	和田氏が入手
134	愛媛-1.0 1	千歳会・石城農産加工組合 代表山西典子	活動報告書 テーマA・ゆたかまで楽しむの ある健康な食生活のための私達の活動— 共同炊事から女性起業へ展開させた私達の グループ活動	発行年不明	千歳会・石城農産加工組合	県の菜蓴士会の活動の記録。写真多し。	コピー/資料	高岡氏
135	愛媛-1.0 2	千歳会・石城農産加工組合 代表山西典子	同上の発表原稿	発行年不明	千歳会・石城農産加工組合	同上の発表原稿であり、当時のエピソード等の 情報が補足されており、口語体で書かれて いる。	コピー/資料	高岡氏
136	愛媛-1.0 3	年代別年間活動実績	同上添付資料	発行年不明	千歳会・石城農産加工組合	昭和35～平成6年までの千歳会の活動実績が 表でまとめられている。	コピー/資料	高岡氏
137	愛媛-1.0 4	石城農産加工組合	10年のあゆみ	発行年不明	石城農産加工組合	石城農産加工組合の設立経緯、組合の概況、 10年間の歩み(昭和59～平成5年)を創立10周 年にあたりまとめられたもの。運営規約が添付さ れている。	コピー/資料	高岡氏
138	愛媛-1.0 5	柿内真由美/愛媛県農林水産 部農林技術センター	『自給野菜の利活用状況の実態を知る』 『生活改善研究 自己研修課題研究事例 第3号』	昭和 55(1980)年	愛媛県農林水産部農林技 術センター	これまでに実施された実地調査により、自給 野菜の利活用が不十分等の問題点があげられ たため、採取状況等の調査による実態把握を 行い、自己研修課題研究事例としてまとめら れたもの。	コピー/資料	柿内真由美氏
139	愛媛-1.0 6	愛媛県八幡浜地方局東宇和地 域農業改良普及センター	東宇和の農業概要	発行年不明	愛媛県八幡浜地方局東宇 和地域農業改良普及セン ター	東宇和地区の管内概要、農業、畜産、生活等 に関するパンフレット。	原本冊子(パン フ)/冊子	愛媛調査にて
140	愛媛-1.0 7	河内谷 千歳会	事業報告書	昭和 36(1961)年 度～40 (1965)年 度	河内谷 千歳会	千歳会活動内容記録簿昭和36年～平成12年度 まで。昭和36～60年度分はノートに各年一 冊ずつ、昭和61年度以降の分は一冊にまとめ られている。	コピー/ノート	新宮氏
141	愛媛-1.0 8	北梅本婦人会	北梅本婦人会50年の歩み	昭和52 (1977)年	北梅本婦人会	北梅本婦人会結成50周年を記念し、会の変 遷・出来事・思い出等を整理して発刊された 50年誌	冊子/冊子	高岡氏より寄贈
142	愛媛-1.0 9	八木俊子	共同活動が私たちのくらしに根づくまで	発行年不明	発行所不明	上記冊子の中に採まっていたもの。北梅本グ ループの発足、活動内容が紹介されている。	コピー/コピー	高岡氏より寄贈
143	愛媛-1.1 0	東宇和地域農業改良普及セン ター 野城会	0Bが綴る草創期の記録	平成 12(2000)年	東宇和地域農業改良普及 センター 野城会	野城会の草創期をたどり、普及員の果たした 役割や行動記録を残すために整理されたもの。 の。	コピー/コピー	愛媛調査にて
144	愛媛-1.1 1	野村農業改良普及所	農村に文化の灯りを	平成 12(2000)年	野村農業改良普及所	本稿は別冊「0Bが綴る草創期の記録」の近編 (実践編)。昭和30年代の村の生活と普及員 による指導の様子を人形劇・創作劇で表現し たもので、その脚本。	コピー/コピー	寄贈
145	愛媛-1.1 2	松木登・和気幸雄編	涼風 夏季号	昭和 25(1950)年	野村町農業共同組合	当該組合の機関誌(農事社、農民会議事業計 画、お知らせ等)の創刊号	コピー/コピー	愛媛調査にて
146	愛媛-1.1 3	計池恭三編	千日紅	昭和 26(1951)年	中筋農協内千日紅編集宅	生活改善全般、農業等に關して寄稿されたもの をまとめて発刊される4日クラブの機関誌	コピー/コピー	愛媛調査にて

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
147	愛媛-1-1 4	篠藤恵子	養豚と繭工芸の両立を求めて	発行年不明	篠藤恵子	養豚農家に聞いた篠藤氏の養豚経営及び繭工芸家としての活動の記録	B5版原稿用紙コピー/コピー	寄贈
148	愛媛-1-1 5	篠藤節子	無題(手紙形式なので、題名なし)	平成13 (2001)年	篠藤節子	岡成部落の生活改善運動の概要(手紙形式)	B5便箋/原本	寄贈
149	愛媛-1-1 6	愛媛県農林水産部技術指導課	つたのはーいきいきと楽しく女性たちー	平成11 (1999)年	愛媛県農林水産部技術指導課	愛媛県における様々な活動に対する全国的な評価を受けた事例集(婦人グループの生活・生産活動に関する表彰、農山漁村高齢者対策優良活動地域表彰、全国農業コンクール、豊かな村づくり全国表彰、食フタに活動コガタ)。	冊子/原本	愛媛調査にて
150	愛媛-1-1 7	高岡ミエ子編(農林水産省の専門技術員研修等の資料に基づく)	生活改善普及活動	平成13 (2001)年	高岡ミエ子	生活改善普及運動の特色を「教育、普及、開発、問題解決学習の指導原理、普及指導活動の基礎」などの点から整理されたもの。	コピー/原本	高岡氏より寄贈
151	愛媛-1-1 8	高岡ミエ子編(農林水産省の専門技術員研修等の資料に基づく)	グループ育成	平成13 (2001)年	高岡ミエ子	自主性を促すグループ活動の進め方を「基本、タイプ別、計画、活動診断方法、発展段階」等の項目別に整理したもの	コピー/原本	高岡氏より寄贈
152	愛媛-1-1 9	篠藤益枝(第一回生活改善実行グループ研究会発表原稿)	生活改善実行グループ夏の体験記	昭和38 (1963)年	愛媛県岡成グループ	岡成へ嫁ついできた篠藤氏の回顧録。帰省改造10か年の歩みを改善前の部落の状況と比して述べている。別表に「岡成集落のしくみ」が添付されている。	コピー/原本	高岡氏より寄贈
153	愛媛-1-2 0	高岡ミエ子編(中四国ブロック研究会等の資料に基づく)	生活実践目標	発行年不明	愛媛県婦人農業大学資料	生活を改善するにあたり、その具体的実践目標が農村の価値、意欲、生産の工夫、自立等のテーマ別に掲げられたもの	コピー1枚/原本	高岡氏より寄贈
154	愛媛-1-2 1	高岡ミエ子編(農林水産省の専門技術員研修等の資料に基づく)	評価ー援助活動が活動的に行われているかどうか？	発行年不明	高岡ミエ子	援助活動について評価を行う場合の3つの指標(知的・実践的・態度的変化)とその具体的内容が説明されている。	コピー/原本	高岡氏より寄贈
155	愛媛-1-2 2	高岡ミエ子編(農林水産省の長会各県事例より)	資料Ⅲ-5 むらづくりの構図	発行年不明	高岡ミエ子	村づくりにおける重要な項目(アイディア、視点、集合体)とその関係性を図に示したものの	コピー/原本	高岡氏より寄贈
156	愛媛-1-2 3	高岡ミエ子編(農林水産省の専門技術員研修等の資料に基づく)	図-1 グループ活動から地域活動のステップ	発行年不明	高岡ミエ子	地域社会、施設面、生活面、農業面において各グループにおける発展段階を表にまとめたもの。	コピー/原本	高岡氏より寄贈
157	愛媛-1-2 4	高岡ミエ子編(農林水産省の専門技術員研修等の資料に基づく)	自分の家だけの暮らし方はもちににくい	発行年不明	高岡ミエ子	仕事の負担・衛生面の状況及びその改善策をイラストを用いて説明されているもの。	コピー/原本	高岡氏より寄贈
158	愛媛-1-2 5	高岡ミエ子編(愛媛県での活動資料等に基づく)	生活改善グループとは	発行年不明	高岡ミエ子、愛媛県	生活改善グループとは何か、その意義、活動指針等が簡潔に説明されている。	コピー/原本	高岡氏より寄贈
159	愛媛-1-2 6	高岡ミエ子編(愛媛県での事例に基づく)	グループ活動の実態	発行年不明	伊予農業改良普及所	グループ活動の状況を各発達段階にしたがって、内容、リーダーの役割、目標ごとに整理した表	コピー/原本	高岡氏より寄贈
160	愛媛-1-2 7	山形県トータルライ研究会編	写真集 やまがた農おんな 風と光と夢	平成12 (2000)年	山形県トータルライ研究会	戦後20年間の写真がつづられ、改善前と後の姿を比較して掲載。	コピー/	高岡氏
161	愛媛-1-2 8	愛媛県改良普及職員協議会	農家必携	昭和34 (1959)年	愛媛県改良普及職員協議会	生活技術(農産加工、繊維、染業、台所改善等)のマニュアル本	コピー/図書	高岡氏
162	愛媛-1-2 9	岡成部落住民	岡成部落規約	昭和29 (1954)年	岡成部落	昭和29年4月1日施行。第1〜第9条まで組織運営内容、役員任期・役割等。	コピー/コピー	水野正己氏
163	愛媛-1-3 0	藤原清吉	やりくり通信No.3/No.4	昭和32 (1957)年	東部地区農村青少年クラブ連絡協議会	クラブの歩み、活動状況、技術交換会の内容等。	コピー/冊子	水野正己氏

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
164	愛媛-1.3 1	笠置クラブ	笠置クラブ 創刊号	発行年不明	笠置4日クラブ	笠置4日クラブの概略、各クラブ員の奇蹟裏が掲載。	コピー/コピー	水野正巳氏
165	愛媛-1.3 2	文化社会委員編	愛 夏季号 第5号	昭和26 (1951)年	中筋青年団	活動状況紹介	コピー/コピー	水野正巳氏
166	愛媛-1.3 3	中筋村農地内時流編集室	時流 1の50 No.3	昭和35 (1960)年	中筋青年団	台所改善貯蓄組合、農書について	コピー/コピー	水野正巳氏
167	愛媛-1.3 4	本村分館 大本利明編	雑草 第2号	昭和30 (1955)年	本村分館 大本利明	分館活動のねらいや活動記録	コピー/コピー	水野正巳氏
168	愛媛-1.3 5	農林省農業改良局	図説 農家の生活改善	昭和29 (1954)年	朝倉書店	生活改善の前身(衣食住・習慣等)を絵で紹介	コピー/冊子	高岡氏
169		NHK松山中央放送局編	66ラジオ農業学校 41年4月→42年3月/ 月曜～土曜 第2放送前6:40～7: 00/再放送後7:00～7:15	昭和41 (1966)年	愛媛県放送利用農業集団 推進協議会 NHKサ一 ビスセンター松山支局	農業を新しい職業として選り生涯をかけてやっ ていく、農業後継者のためにつくられた テキスト。	コピー/冊子	高岡氏
170		NHK松山中央放送局編	68ラジオ農業学校 43年4月→44年3月/ 月曜～土曜 第2放送前6:40～7: 00/再放送後7:00～7:15	昭和43 (1968)年	愛媛県放送利用農業集団 推進協議会 NHKサ一 ビスセンター松山支局	放送利用によるラジオ農業学校8年目を迎 え、県として地域別の農業指標を示し、具体 的な実践を促る年として「高度技術と素養 を身につけるため」のテキスト作成されたもの。	コピー/冊子	高岡氏
171		NHK松山中央放送局編	69ラジオ農業学校 44年4月→45年3月/ 月曜～土曜 第2放送前6:40～7: 00/再放送後7:00～7:15	昭和44 (1969)年	愛媛県放送利用農業集団 推進協議会 NHKサ一 ビスセンター松山支局	ラジオ農業学校のテキスト。上記本の次年度 版。「農業」を新しい職業として選り、生涯 をかけてやっっていく基礎となる学習用として 作成したと記されている。	コピー/冊子	高岡氏
172		職業教育協会編	働く喜び 農村生活 第1巻	昭和 26(1951)年	開隆堂出版株式会社	中学1年生用の文部省検定済みの「職業・家庭 科」の教科書。実生活に役立つ基本的事項を まとめている。	コピー/冊子	高岡氏
173		職業教育協会編	働く喜び 農村生活 第3巻	昭和 26(1951)年	開隆堂出版株式会社	中学3年生用の文部省検定済みの「職業・家 庭科」の教科書。新しい農法に関する理解を 深めること、ホームプロジェクト及び進路に 関して学習するようにまとめている。	コピー/冊子	高岡氏
174		農林水産省農畜園芸局普及部 生活改善課	生活改善 普及活動の手引	昭和54 (1979)年	農林水産省農畜園芸局普及 及部生活改善課	1954年度発行の普及活動手引きの中から ら、現時点でも通用するものを限定・修正 し、再発行したもの。普及活動の兄通し、予 備活動の進め方及び農家の人々への接し方に 関してまとめられている。	コピー/図書	高岡氏より寄贈
175		丸岡秀子	組織運動の原点-婦人運動の先覚者たちの 事跡から-<共同組合基礎理論研究会 特別研究会の記録>昭和62年9月	昭和62 (1987)年	協農林中金研究センター	当該研究会における丸岡氏による報告とそれ に基づき討議に関する記録を「協同組合基礎 理論研究シリーズ第9集」としてまとめたもの。	コピー/図書	高岡氏
176		愛媛県農林水産部農林技術セ ンター	普及指導活動資料 普及活動の評価 (その1)	発行年不明	愛媛県農林水産部農林技 術センター	評価目的、その手順と技術、普及活動の成果 分析と利用方法についてまとめられている。	コピー/冊子	高岡氏より寄贈
177		日下あこ、久松由利子	農家の生活改善	昭和34 (1959)年	井上書院	台所の設計、適切な位置、設備改善等につい て建築家の立場からまとめている(実例を 含む)。	コピー/図書	高岡氏

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
178		農林省農政局普及部生活改善課	単独普及計画	昭和34 (1959)年	農林省農政局普及部生活改善課	農山漁家の問題点を把握するとともに人々の生活改善上の要求や希望を知り、その解決をはかる活動を展開する仕事の進め方に必要となる計画樹立の方法として、単独普及計画を説明している。問題と実情の収集、その整理と考察、課題の決定、プログラムの実行及び効果の測定について述べられている。	コピー/図書	高岡氏より寄贈
179		農林省農業改良局生活改善課	主題の決定と発展(普及計画シリーズ No. 1)	昭和28 (1953)年	農林省農業改良局生活改善課	農家生活改善における問題意識、問題点の把握、農民の改善意識、主題の発展のさせ方に関して検討され、整理された理論と手法が説明されている。	コピー/図書	高岡氏より寄贈
180		愛媛県農林水産部農林技術センター	生活改善普及資料昭和52年9月 なかまづくりのしおりー農産漁家生活改善実行グループ活動のすすめかたー	昭和52(1977)年	愛媛県農林水産部農林技術センター	農山漁村生活改善実行グループの活動方法が、事例とともに説明されている。	コピー/図書	高岡氏より寄贈
181		愛媛県農林水産部農林技術センター	生活改善普及資料昭和54年9月 なかまづくりのしおりー農産漁家生活改善実行グループ活動のすすめかたー	昭和54(1979)年	愛媛県農林水産部農林技術センター	昭和52年度版の修正補足版。事例は新たなものが記載されている。	コピー/図書	高岡氏より寄贈
182		愛媛県農山漁村ふるさとづくり推進大会	手づくりの技と心でむらおこし 第12回	昭和60(1985)年	発行所不明	農産漁村における生産を担いつつ生活改善グループ活動を展開している者達が一堂に会し、日ごろの学習・実践活動の体験と成果を交換し合った大会の内容をまとめたもの。	コピー/冊子	高岡氏より寄贈
183		松山農業改良普及所 愛媛県農林水産部農業指導課	昭和56年度中国四国国産プロック生活改善普及員活動効率化研修会 北条市 庄のむらづくり活動	昭和56(1981)年	愛媛県	庄集落における課題、解決のみならず、普及指導の構想が整理されており、付随して従来からの活動実績及び庄振興会の活動にまつまめられている。	コピー/冊子	高岡氏より寄贈
184		愛媛県農産漁村ふるさとづくり推進大会	高めよう ふだんの暮らし 興そう育てよう ふるさとの未来 第18回	平成3(1991)年	愛媛県	農山漁家の主婦・若妻及び高齢者が一同に会し、実施されたフォーラム(実践活動の体験を発表、伝承技術の展示・演示等)の報告書。本会の内容と事例がまとめられている。	コピー/図書	高岡氏より寄贈
185		愛媛県農林水産部農業技術センター	生活改善普及資料昭和51年4月 グループリーダーの役割を考えよう	昭和51(1976)年	愛媛県	グループリーダーの資質、仕事、役割について整理されたもの。	コピー/図書	高岡氏より寄贈
186		関東農政局 関東プロック普及活動研究会	若手普及員なんでもブック 平成7年7月	平成7(1993)年	愛媛県農林水産部技術指導課	改良普及員の大層な世代交代により、築かれてきた普及活動手法や考え方が十分伝えられていない状況を受けて、関東プロック普及活動研究会が参考にとりまとめたもの。	コピー/図書	高岡氏より寄贈
187		愛媛県農会	大正13年 農村生活実況調査(越智郡乃万村)	発行年不明	発行所不明	農村生活の実態調査を実施した際の調査項目がわかる。	コピー/冊子	高岡氏より寄贈
188		名智二夫(久万町柳野川)	農作業1年毎目録	昭和6(1931)年	発行所不明	項目別(大候、家事、副業、稲作等)の調査表	コピー/84版原本	高岡氏より寄贈
189		茨城県教育普及課(46.3)	45教普及第24号 生活改善係4号 部落ぐるみの共同炊事ができるまで 事例1 右下地区 II 銚田地区	昭和46(1971)年	茨城県教育普及課(46.3)	既に発行された「45教普及資料第23号:新しい普及への道」に記された2つの事例のほか、共同炊事に焦点をあて、普及員の考え、仕事の手順、農家の反応、を中心に普及員の記録と話をとまとめたもの。	コピー/冊子	高岡氏

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
190		茨城県農林水産部教育普及課	48教育資料第33号 生活改善係2号 農産漁村生活水準診断事業報告書 昭和49年3月	昭和49(1974)年	茨城県農林水産部教育普及課	農家及び地域の基本的な生活態度に對する方向付けを樹立する場合の資料とするため、昭和48年、全市町村において栄養、保健、住居、生計、余暇、教育、生活環境、生活意識、人間関係等の項目について実施されている。	コピー/冊子	高岡氏
191		茨城県農林水産部教育普及課	活力あふれる農村社会を築く 茨城の生活改善普及活動	昭和60(1985)年	茨城県農林水産部教育普及課	生活改善普及員の昭和60年度の活動のあらましをまとめたもの。活動推進体系、農業、農村の担い手育成のための事業、農村高齢者役割向上対策事業等について記されている。	コピー/冊子	高岡氏
192		Masatoshi ORUCHI Associate Professor Meiji College of Pharmacy	VI. MAIN POINTS IN THE IMPROVEMENT OF AGRICULTURE AND FARMERS' LIVING STANDARD IN JAPAN	発行年不明	発行所不明	大内氏は第二次世界大戦後の日本における農業と農民の生活の発展過程、大島氏は家庭生活向上拡大サービスの概要、みずかみ氏は農家の平均的生活の変化とその為の適性技術、しもし氏は日本における農地改革において論じたものがまとめられている。	コピー/冊子	高岡氏
193		吉田豊	経済開発と生活改善	平成4(1992)年	筑波書房	生活改善のケーススタディとして愛知県七郷一色村婦人会を紹介している。	図書/図書	吉田豊氏より情報入手(佐藤寛氏)
194		茨城県農林水産部教育普及課	豊かさとは活力のあるムラづくりをめざす 農村婦人の組織活動	昭和56(1981)年	茨城県農林水産部教育普及課	農村婦人の組織活動：農村生活の問題点を明確にし、解決を促進するために開催された第4回婦人農業従事者セミナーの実施結果として生活改善グループの活動事例を紹介したものの。	コピー/冊子	高岡氏
195		社団法人 国際農林業協力協会	WID問題検討会資料 バンタラデシユ農村開発委員会信用供与プログラム-世界銀行 ディスカッション・ペーパー-No. 324	平成10(1998)3月	社団法人 国際農林業協力協会	WID問題検討会資料としてそれぞれ表紙と目次のみ：地域社会開発のための新たな研修プログラム-能力基盤研修における単一システム・デザイン、女性解放(アフリカの視点)、タイにおける研究・開発プロジェクトへの性差別問題導入に於いての経験、ジェンダーと開発のための義務ガイド、WIDとプロジェクト・サイクル、若干の事例調査にみるラピッド・アプローチにおけるシエンダー問題、半分が二つで完全体になる一開発におけるシエンダー関係の均衡化、社会/ジェンダー分析ハンドブック-カナダ政府開発援助新戦略、農村女性と技術発展、農村女性一開発における不平等なパートナー、女性労働者と緑の革命。	コピー/冊子	AICAF
196		国際協力事業団農林水産開発調査部	No.151 農林業分野のWID事例集 平成11年3月	平成11(1999)年	国際協力事業団農林水産開発調査部	上記同様、表紙と目次のみ。題名割愛(1月22日現在)	コピー/冊子	AICAF
197		高岡ミエ子編(研修・研究会等における資料に基づく)	近世の百姓伝記-農術鑑正記より-	発行年不明	農林水産省(高岡ミエ子氏の真による)	毎月の自然、行事、農作業を年間に渡って記したもの	コピー/B4版原本	高岡氏
198		高岡ミエ子編(研修・研究会等における資料に基づく)	7. 活動方式及び活動計画のたて方	昭和53(1978)年	農林水産省(高岡ミエ子氏の真による)	手書きによる、普及活動を効果的に行うための仕事(現地指導・指導準備、研修、関係機関との会議、事務等)の説明(注意事項等)が記されている。	コピー/B5版原本	高岡氏

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
199		高岡ミエ子編(研修・研究会等における資料に基づく)	ねらい	昭和54 (1979)年	農林水産省(高岡ミエ子氏の責による)	生活史聴取調査にあたり、その方法と留意事項等がまとめられている。	コピー/56番原本	高岡氏
200		昭和館	昭和館 戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世に伝える	発行年不明	昭和館	戦中・戦後の暮らしぶり一衣一食住、玩具、映像資料などを紹介する当館の概要パンフレット。	パンフレット	矢敷入手
201		SAKURA MOTION PICTURE COMPANY (桜映画社)	日本における農業、地域開発及び人口(スライド・台本)	発行年不明	THE ASIAN POPULATION AND DEVELOPMENT ASSOCIATION (アジア人口・開発協会)	スライドと台本(日英)あり。第二次世界大戦後の暮らし(農業、カマド改善をはじめとする生活改善、学校、婦人会等)ぶりを今日と比較しながらまとめたもの。	コピー/冊子	(財)アジア人口・開発協会(服部入手)
202		松戸市立博物館(担当:青木俊也)	企画展 戦後松戸の生活革新～新しい暮らし方へのあこがれ～	平成12 (2000)年	松戸市立博物館	松戸市立博物館が平成12年10月～11月に開催された企画展「戦後松戸の生活革新」の展示解説図録	原本	松戸市立博物館(佐藤寛氏・鈴木雅之氏入手)
203		WAA(Women's Activities Association)	途上国で得立つ 生活向上ガイドブックー日本の経験・WIDの視点よりー	平成5 (1993)年	WAA(Women's Activities Association)	開発途上国で協力活動に携わる人が困った際、解決に向けたヒントを提示することを目標に作成されたもの。協力隊00の経験に基づき、食・住・保健衛生・識字・所得、等の向上を目指し、図解入りでわかりやすくまとめられている。	原本/冊子	青年海外協力隊事務局(服部入手)
204		広島県総務企画部秘書広報総室	平成12年度広島県海外技術研修員・県費留学生研修報告書	平成13 (2001)年	広島県	海外技術者研修受入事業を実施した際、留学生や研修員が習得した知識や体験などを記したレポートをまとめた報告書	冊子/冊子	広島県総務企画部
205		佐久病院	衛生指導員物語「農民とともに」「医師たちは走った一医療革命 集団検診」	平成14 (2002)年	佐久病院	昭和34年、長野県八千穂村で全住民を対象にした集団検診が開始、不要論が出る中、一人当たりの医療費が全国平均を下回るようになり、全村民団検診が全国的に広まっていく。	コピー/冊	http://www.nhk.or.jp/project/77/index.htm 2002.3.12 valley.nc.jp~
206		企画・製作:岩波映画製作所 後援:厚生省	生活と水	発行年不明	岩波映画販売網	伝染病を防止、生活の不便を減少させる水(水道)に焦点をあてた話で日本海に臨む小さな村を事例としている。	ビデオ/ビデオ	JICAの山本敬子氏
207		AP0	Enhancing Women's Role in Agriculture & Rural Development	発行年不明	AP0(アジア生産性機構)	長野県の事例をふまえたながら、女性達の普及活動の状況を紹介したものの。	スライド・台本・音声テープ・ビデオ	AP0の宗像氏
208		企画:(財)家族計画国際協力財団	住民参加による保健活動	発行年不明	関係映画社	戦後の日本の農村における地域保健活動に関する映画(昭和20~30年代に製作されたものを再編集)で、アジア諸国の人達に見てもらったことを念頭に作成されている。英やベトナム語版がある。	ビデオ(日英)	ジョイセブ(佐藤寛氏入手)
209		監修・録音:鹿児島県保健衛生所 企画撮影:鹿児島県広報文書課	経済自立映画「明日をつくる人々」	昭和32 (1957)年	鹿児島県	家族計画や定期健康診断の実施。多産と過労で亡くなる農村女性性の事例を描いている。	ビデオ	鹿児島県広報課(服部入手)
210		監修・録音:日本映画新社 企画撮影:鹿児島県広報文書課	経済自立映画「明日を明るく」	昭和29 (1954)年	鹿児島県	昭和27年経済自立化の一環として住民が一致団結して保健衛生に取り組んだ記録(鹿児島県薩摩郡高江村の峰下部落)。	ビデオ	鹿児島県広報課(服部入手)
211		監修・録音:日本映画社	経済自立映画 生活改善編「明日を明るく」	昭和29 (1954)年	鹿児島県	共同の購入・加工・預金・収穫及びカマド改善などの活動を二人の若い男女を通して描いたもの	ビデオ	鹿児島県広報課(服部入手)
212		監修・録音:日本映画社	経済自立映画 協同販売編「みんなの力で」	昭和29 (1954)年	鹿児島県	農協のたてなおしをはかり、農民と組合が共同・協力をすることにより、村の社会・生活向上が成功した事例。	ビデオ	鹿児島県広報課(服部入手)

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
213	生技研図書-131	企画：農林省 企画：板硝子協会③ 製作：千代田映画	緑の自転車	発行年不明	電通映画社	生改と農改がある村におけるカマドの改善等生活向上活動に協力する物語。	ビデオ	生活技術研修館(木野氏入手)
214	生技研図書-132	企画：板硝子協会③ 製作：千代田映画	或る農家の記録	昭和31(1956)年	千代田映画(株)	スライド・台本有り。千葉県松戸市大谷口という部落における生活改善取組みのドキュメンタリー。硝子中心で改善前後の家庭の平面図あり。	コピー/図書	生活技術研修館
215	生技研図書-132	企画製作：島根県農業改良課	伸びゆく生活改善グループ(大田市大田町日の出グループ)	発行年不明	島根県	スライド・台本有り。高根県内の生改グループ活動の紹介(田植えの祝い、資金づくり等)	コピー/図書	生活技術研修館
216	生技研図書-133	著者・編者不明	農家生活改善普及事業(展)	発行年不明	発行所不明	スライドのみで台本無し。生活改善普及事業の展覧会の模様をスライド化したもの。台本は無い。	コピー/スライド	生活技術研修館
217	生技研図書-134	著者・編者不明	藁布団のつめ方	発行年不明	発行所不明	スライドのみで台本無し。藁布団の作り方が具体的に示されている。台本は無い。	コピー/スライド	生活改善研修図書
218	生技研図書-135	監修：農林省振興局 企画：板硝子協会④ 製作：岩波映画製作所	農村生活改善グループ(四) 妨が巧み 明るい居間	発行年不明	岩波映画製作所	スライド・台本有り。住宅改善が台所に限定される中、関心をあまり払われない居間に焦点をあて、問題点と解決策を東北地方のある生改グループの事例で描いたもの。	コピー/図書	生活改善研修図書
219	生技研図書-136	著者・編者不明(推薦：農林省、建設省、全国農業共同組合中央会)	これからの住い	発行年不明	発行所不明	スライドのみ。台本は無い。農林省、建設省、全国農業共同組合推薦。写真・イラストで住いの改善前後を比較して説明したものの。	コピー/スライド	生活改善研修図書
220	生技研図書-137	監修：農林省農業改良局 企画：板硝子協会② 製作：千代田映画	すまいを明るく暖かく	昭和30(1955)年	千代田映画(株)	スライド・台本有り。住いの暖気と採暖に重点をおき、安価で工夫をこらすモデルを紹介。ベチカや建具の作成方法が図入りで掲載。	コピー/冊子	生活改善研修図書/鹿兒島県農山村婦人の家
221		岐阜県益田農業改良普及所	トマトジュースづくり	発行年不明	岐阜県農業改良普及所	スライド・台本・音声テープ有り。糸刺トマトを利用して、トマトジュースを作って販売し成功した事例。協力：下呂町南益田農家	コピー/スライド	加藤貞志江氏
222	農文協-101	企画：農林省農業改良局	農家のパン食	昭和31(1956)年	(社)農山漁村文化協会	幻燈スライド説明台本。スライド無し。自家生産の小豆からパンを作るうえで試みる農家が増加したが、未だ施設運営、生活への入り方など疑問を持つ人が多いことを受け、实例紹介をしていく。協力：山梨県塩山市影井婦人部 農林省農業改良局生活改善課 佐藤長子	コピー/図書	(社)農山漁村文化協会/鹿兒島県農山村婦人の家
223	農文協-102	企画・製作：(社)農山漁村文化協会	けむたいカマドとよいカマド	昭和31(1956)年	提供：学芸光画社	スライド・台本有り。基本はカラウーのイラスト、白黒写真(材料を共同購入、共同作成する部分)を含めてカマド改善経緯を物語り立てにしている。	コピー/図書	(社)農山漁村文化協会(服部入手)
224	農文協-103	企画・製作：(社)農山漁村文化協会 協力：長野県下高井郡延徳村大熊部落	共同炊事の村	昭和28(1953)年	(社)農山漁村文化協会	スライド・台本有り。昭和14年に共同炊事場を建設した事例。共同炊事にすることにより、炊事の時間が減少し睡眠時間が増加したこととを強調している。	コピー/スライド	(社)農山漁村文化協会(服部入手)

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究所所有/オリジナル)	入手元
225	農文協一1 04	企画：農林省振興局生活改善課 製作：(社)農山漁村文化協会	ふるさとの改良	昭和32 (1957)年	(社)農山漁村文化協会	幻燈スライド説明台本。スライド無し。風呂釜きの手間や経済の点から不都合の多い風呂場の改良を農家の若夫婦を通じて改善の実例を示したものの。協力：農林省生活改善課技術(宮本多修)、農林省西ヶ原農業技術研究所(下河辺智恵子・安藤和子)、埼玉県加須地区改良普及員(内堀薫・野中栄子)、千葉県松戸市大谷口生活改善クラブ	コピー/図書	(社)農山漁村文化協会(服部入手)
226	農文協一1 05	企画：農林省振興局生活改善課 製作：(社)農山漁村文化協会	寝具の改良	昭和34 (1959)年	(社)農山漁村文化協会	「清涼で寝心地のよい寝具で毎日の疲れを癒すにどうするか」を身近な問題から改善策を具体的に取り上げたもの。協力：農林省寝具局生活改善課事務官(新見喜代子)、東京都西多摩郡羽村町婦人有志・埼玉県鴻巣市吹上町若桜グループ、東京都葛飾区農業改良普及所(本橋到)、東京の改良衣服研究家(末武せん)	コピー/図書	(社)農山漁村文化協会(服部入手)
227	農文協一1 06	企画：農林省農業改良局 製作：(社)農山漁村文化協会	パン食をすすめる村	昭和29 (1954)年	(社)農山漁村文化協会	幻燈スライド説明台本。スライド無し。主食に偏った考え方をあらため、副食の重要性を理解しつつ、お金をかけないパン食の取り入れ方を示すために製作された。協力：農林省(高橋由次郎、佐藤長子)、茨城県農業改良事務局、茨城県真壁郡古里村	コピー/図書	(社)農山漁村文化協会/鹿児島県農山村婦人の家
228	農文協一1 07	監修：農林省農業改良局 企画・製作：(社)農山漁村文化協会	農村衣生活の改善—フックさん一家の衣生活—	発行年不明	(社)農山漁村文化協会 提供：学芸光画社	幻燈スライド説明台本。スライド無し。衣生活とバックアップし、指導者(解決の方法を指示して農家自身の中にある合理的な考えを導き出し、芽生えを育て実行に持っていく保護者)の補助手段としての役割を意図して製作された。	コピー/図書	(社)農山漁村文化協会
229	農文協一1 08	監修：農林省農業改良局 企画・製作：(社)農山漁村文化協会	かまどの改良	発行年不明	提供：学芸光画社	幻燈スライド説明台本。スライド無し。全国規模で推進されている「カマドの改良」の運動のための一つの手段として製作。	コピー/図書	(社)農山漁村文化協会(服部入手)
230	農文協一1 09	企画：農林省振興局生活改善課 製作：(社)農山漁村文化協会	自家製ガスを使う農家—メタンガス発生槽の効果と利用—	発行年不明	(社)農山漁村文化協会	カラースライド説明台本。スライド無し。メタンガスを利用して台所仕事の効率をあげ、燃料費を節約し、畜舎も綺麗になった農家の事例。	コピー/図書	(社)農山漁村文化協会
231	農文協一1 10	企画：農林省振興局生活改善課 製作：(社)農山漁村文化協会	雨着の改良	発行年不明	(社)農山漁村文化協会	スライドのみ、台本無し。雨の日に蓑を着て農作業をしていた農民が話し合っ歩きやすく防水加工した雨着を着るようになるまで。	コピー/スライド 原本	(社)農山漁村文化協会(服部入手)
232	農文協一1 11	企画：農林省改良局 製作：農山漁村文化協会	農繁期の栄養—保存食の工夫—	発行年不明	(社)農山漁村文化協会	スライドのみ、台本無し。生活改善の動きの中で様々な改良された物品の写真をイラストで示し、物語仕立てになっている。	コピー/スライド 原本	(社)農山漁村文化協会(服部)
233	生技研図書 —138	著者・編者不明	生活改善改良物品	発行年不明	発行所不明	スライドのみ、台本無し。生活改善の動きの中で様々な改良された物品の写真をイラストで示し、物語仕立てになっている。	コピー/スライド 原本	(社)農山漁村文化協会(服部入手)
234		松戸市立博物館(担当：青木俊也)	企画展 戦後松戸の生活革新～新しい暮らし方へのあこがれ～	平成12 (2000)年	松戸市立博物館	松戸市立博物館が平成12年10月～11月に開催された企画展「戦後松戸の生活革新」の解説図録	原本	松戸市立博物館(佐藤篤氏・鈴木雅之氏入手)

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
235		水谷鋤治	みんなのでやる生活改善(上) - 明るい 村・楽しい生活第二部 -	昭和31 (1956) 年	富民社	生活改善の総論。住居、台所、水道等の各論	コピー/不明	水野正己氏
236		水谷鋤治	みんなのでやる生活改善(中) - 明るい 村・楽しい生活第二部 -	昭和31 (1956) 年	富民社	食生活、環境衛生等に関する改善論。	コピー/不明	水野正己氏
237	宮崎-1-0 1	(財) 農政調査委員会	日本の農業 - あすへのあゆみ - III 宮崎県 「SAP」運動一線の繁栄を担って15年 -」	昭和52 (1977) 年	(財) 農政調査委員会	宮崎県のSAPの成り立ち、経緯等概略及びSAP に関する調査報告をまとめたもの。昭和36年 以来刊を重ねた「日本の農業 - あすへの歩み -」シリーズの1つ。	コピー/図書	水野正己氏
238	山口-1-0 1	本間明子	しゃくなげだけより	1988 (昭和 63) ~ 2000 (平成12) 年	本間明子	町議員の本間氏が独自で発行する手作りの議 会だより (新聞のようなもの)	コピー/A4版方 ラ一紙	山口・本間明子氏
239	山口-1-0 2	読売新聞	社説「自由主義・国際主義・人間主義 平和で活力ある21世紀へ向けて」	1994 (平成 6) 年	読売新聞	新聞切り抜き。読売新聞の元旦における初心 表明のようなもの。	コピー/新聞切り 抜き	山口・本間明子氏
240	山口-1-0 3	本間明子	婦人の社会参加への意識調査	1983 (昭和 58) 年	本間明子	年代別の婦人意識調査 (国際婦人年認知・男 女平等感等) の結果及び集落状況の整理表を 作成してあるもの。	コピー/B4版紙	山口・本間明子氏
241	山口-1-0 4	本間明子	婦人会活動目標および役員の方角	発行年不明	本間明子	婦人会の目標推移や集落活動を表に整理した もの。	コピー/B4版紙	山口・本間明子氏
242	山口-1-0 5	本間明子	阿武町内各集落老人人口一覽表	発行年不明	本間明子	昭和62年と平成3年の人口一覽表及び産業 別人口者数の表。向かの資料のコピーだが、 出典不明。	コピー/B4とB5版 紙	山口・本間明子氏
243	山口-1-0 6	本間明子	集落における婦人の参加について	1984 (昭和 59) 年	本間明子	集落の共同活動回復について婦人の社会参加 を取り上げたもの。戦前・戦中・戦後の期間 別に状況を整理している。	コピー/B5版紙	山口・本間明子氏
244	山口-1-0 7	本間明子	辺地における生活改善の指導	1969 (昭和 44) 年	本間明子	瀬田指導地域であった木間地域での指導概 要。	コピー/A4版紙	山口・本間明子氏
245	山口-1-0 8	本間明子	越し方をふりかえって	発行年不明	本間明子	普及事業退職後の議員活動等をコメントした もの。	コピー/冊子のコ ピーA4版	山口・本間明子氏
246	山口-1-0 9	本間明子	『女性が政策決定の場に出て』「研究生 活 Vol. 25/No. 1」	1994 (平成 6) 年	(社) 農山漁家生活改善 研究会	生改としての活動後、議員立候補をした背 景、議会活動、議員の立場から見た町の状況 を寄稿したもの。	コピー/冊子	山口・本間明子氏
247	山口-1-1 0	錦町史編さん委員会	錦町史	1988 (昭和 63) 年	錦町	自然環境、村史、文化、産業経済、教育、交 通等の各分野において年代をおいて整理され ている。村落の構成と復活、民生に関する章 は特に参考になる。	原本/図書	山口・役場
248	山口-1-1 1	錦町史編さん委員会	錦町史民俗編 山と里と人と暮らし	1995 (平成 7) 年	錦町	写真及び絵図とともに川・山・風景と暮らし が再現されたようにまとめられたもの。祭 り、町民の書いた日記も特色の一つ。	原本/図書	山口・役場
249	山口-1-1 2	山口県生活改善実行グループ 連絡協議会	山口県生活改善実行グループ連絡協議会 35周年記念誌 たんぼぼ	1988 (平成 10) 年	山口県生活改善実行グ ループ連絡協議会	平成9年、山口県生活改善実行グループ連絡 協議会結成35周年記念大会を開催した際の 記念誌。同会の歴史、各グループの活動状況 や技術の総括と位置づけられる。写真やイラ スト等が豊富	原本/冊子	山口・藤井子エ子氏
250	山口-1-1 3	岩国市生活改善実行グループ 連絡協議会	わだち 30周年記念誌	発行年不明	岩国市生活改善実行グ ループ連絡協議会	岩国市生活改善実行グループ連絡協議会結成 30周年記念大会記念誌。各グループの活動 紹介と「くらしの技術バンク」と称して各個 人の得意技術の紹介がされている。	原本/冊子	山口・藤井子エ子氏

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
251	山口-1-1-4	県境朝市サミット推進協議会 /山口県	県境朝市サミットの記録	1999(平成11)年	県境朝市サミット推進協議会/山口県	平成11年8月、高根、広島、山口の県境地域で活躍する朝市関係者や農山漁村女性団体等が錦町に集まり、意見やアイデアを出し合ったサミットの記録集。	原本/冊子	山口・本間明子氏
252	山口-1-1-5	社団法人山口県社会福祉協議会 講演者渡邊一雄	平成11年度「企業等社会貢献活動セミナー」記念講演『社会貢献が生み出す「見えざる利益」の効用』～10大メッセージをこご存じますか～	2000(平成12)年	社団法人山口県社会福祉協議会	渡邊氏の講演内容(ボランティア活動)を講演録としてまとめたもの。	原本/冊子	山口調査にて
253	山口-1-1-6	岩国農林事務所農業普及部	平成12年度農山漁村快適環境創造活動促進事業(農村女性・高齢者支援普及活動) みんなで農山村の未来を拓こう! 錦町府谷地区の快適な環境づくりへの取り組み	2001(平成13)年	岩国農林事務所農業普及部	錦町と府谷地区の職農、事業導入(農山漁村快適環境創造活動促進事業)のねらい、むらづくりのあゆみ(導入前～導入後)についてまとめたもの。	原本/冊子	山口調査にて
254	山口-1-1-7	山口県農産漁村女性連携会議 /山口県	農山漁村女性の意識調査報告書	2000(平成12)年	山口県農産漁村女性連携会議/山口県	女性自らの意識改革の到達感を把握するため、調査を実施し、女性のライフビジョン・現状化への取り組みの詳細資料としてまとめたもの。	原本/冊子	山口・ルカが山私セカ-
255	山口-1-1-8	山口県農産漁村女性連携会議 /山口県	山口県における農村生活環境対策の変遷	発行年不明	発行所不明	生活環境整備の立ち後れ、集落機能の低下、健康問題の顕在化等を背景にそれら対策の変遷を昭和40年代より整理した表	原本/コピー	山口調査にて
256	山口-1-1-9	著者・編者不明	山口県における農村高齢者対策の変遷	2000(平成12)年	発行所不明	山口県における農村生活環境対策、農業者健康対策の変遷も含めて年度毎に取り組み事業等が整理されたもの。	原本/コピー	山口調査にて
257	山口-1-1-20	山口県健康福祉部	山口県における看護の現状 平成12年10月	2000(平成12)年	山口県健康福祉部	看護婦長等による、従事状況、養成状況、研修事業等を看護職員確保対策基礎資料としてまとめたもの。	原本/冊子	山口・有馬かほる氏
258	山口-1-1-21	山口県保健所保健婦研究協会	山口県保健所保健婦活動50年史	1988(昭和64)年	山口県保健所保健婦研究協会	昭和13年県立保健所設置から50年(県に於ける保健婦活動)を記念して発行された記念誌。歴史、各保健所毎の活動及び奇蹟によりまとめられている。	原本/図書	山口・有馬かほる氏
259	山口-1-1-22	藤井チエ子	「婦人消防隊から自前の国際交流、まで一集束町すみれ生活改善実行グループ」『自然と人間を結ぶ 農村文化運動127』	1998(平成10)年	(社)農山漁村文化協会	勤めに出る夫のかわりに婦人消防隊を結成、廃校になった小学校を利用して日本語学校を開校する等の活動をしているすみれグループに関する報告。	原本/冊子	山口・藤井チエ子氏
260	山口-1-1-23	(社)農山村漁村文化協会 文化部編	『自然と人間を結ぶ 農村文化運動129 特集 高齢者と女性が地域社会の未来を拓く』	1993(平成5)年	(社)農山漁村文化協会	高齢者・女性による農業生産や村づくりはいかにして可能か、今日の社会条件の中で課題させるにはどのような課題があるか等の問題に迫るために埼玉・山口県で聞き取り調査を実施し、その結果をまとめている。	原本/冊子	山口・藤井チエ子氏
261	山口-1-1-24	藤井チエ子	「むらびの新しい風」農村女性によるむらづくり、現在と「新たなネットワーク」『自然と人間を結ぶ 農村文化運動142/農業教育53』	1996(平成8)年	(社)農山漁村文化協会	山口県における女性を中心とした村づくり運動の現状と将来について、朝市をネットワーク化したイベント「ルーラルフエスタ」を中心に報告したものである。	原本/冊子	山口・藤井チエ子氏
262	山口-1-1-25	藤井チエ子	「集落拠点活動」農村女性の手による地域計画づくりとその実践『自然と人間を結ぶ 農村文化運動154』	1999(平成11)年	(社)農山漁村文化協会	濃密指導地域であった木間地域での指導概要。	原本/冊子	山口・藤井チエ子氏
263	山口-1-1-26	藤井チエ子	「生活文化の語り部」農村の高齢者ー山を愛し、山の暮らしを誇りにするキクちゃんたちの暮らしから『自然と人間を結ぶ 農村文化運動162』	2001(平成13)年	(社)農山漁村文化協会	農業の持つ根拠的な教育力を伝える農村の高齢者をテーマにルーラルガルドの人達を事例にあげ、その活躍ぶりを報告している。	原本/冊子	山口・藤井チエ子氏

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
264	山口-1.2 7	西村美和(生活改良普及員)	ルーラルガイドの資料	2001(平成13)年	発行所不明		原本	山口・西村美和氏
265	山口-1.2 8	著者・編者不明	地域保健活動は何をめぐらしているか	発行年不明	発行所不明	地域保健のテーマの変遷	原本/コピー	山口調査にて
266	鹿児島-1 0.1	友和双葉会編	燎原の灯は消えずー生活改良普及員の活動ー	平成5(1983)年	友和双葉会	友和双葉会(元生活改同窓会)の10周年事業として、08会員と生改グループ員の貴重な体験や思い出、農産漁家の現状、参観過程、普及活動工夫談を記録したもの。	コピー/冊子	水野正己氏
267	鹿児島-1 0.2	石黒重明・川崎壽・窪田順次共著	研究業書第79号 鹿児島農業の諸問題	昭和41(1966)年	農業総合研究所	鹿児島農業の概略と課題。	コピー/図書	水野正己氏
268	鹿児島-1 0.3	日本銀行貯蓄推進部内貯蓄増強中央委員会	暮らしのはなし	1961(昭和36)年	日本銀行貯蓄推進部内貯蓄増強中央委員会	1961年4月に、東京、横浜の民放ラジオ4局から都市向けに放送された、「消費者教育」番組の活字版。「家計よもやま話」、「青い目の見た日本の生活」の4編から成る。	コピー/図書	鹿児島県農林村婦人の家
269	鹿児島-1 0.4	原作：木下恵介	名作映画スライドNo.111 喜びも悲しみも幾年月ー灯台物語ー	発行年不明	学芸社	幻灯スライド説明台本。スライド無し。気候等生活状況の激しい孤島で舟の交通安全を守り、灯台守として生きる家族をめぐる物語。子どもも東京の大学に進学、息子の死と様々な出来事を通じて当時の人々の生き様を描いている。	コピー/図書	鹿児島県農林村婦人の家
270	鹿児島-1 0.5	有本邦太郎(国立栄養研究所長 指導医学博士)	理研スライド解説書 農村と栄養	発行年不明	理研器具株式会社	スライド説明台本。スライドは無し。農村の現状を親しみやすい画面で見せながら、正しい栄養の知識とその正しい摂取の仕方を教えるもの。	コピー/図書	鹿児島県農林村婦人の家
271	鹿児島-1 0.6	監修：文部省 企画指導：関東地区視聴克ライブラリー委員会	スライド解説書 社会教育シリーズ 第四巻 婦人会の足あとー婦人会篇ー	発行年不明	東京スライド株式会社	幻灯スライド説明台本。スライドは無し。婦人会の活動のあり方を討議するために問題提起をすることを目的に作成されたもので、ある農村婦人会の活動を各部落分会毎にその報告をする形式で構成されている。	コピー/図書	鹿児島県農林村婦人の家
272	鹿児島-1 0.7	制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 安産のために(子安講の日の話)	1953(昭和28)年	(社)農産漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライドは無し。その土地特有の迷信や妊婦の過重労働などの問題を取り上げ、妊婦者に妊婦の健康問題について考えさせる教材。千葉県君津村で撮影。	コピー/図書	鹿児島県農林村婦人の家
273	鹿児島-1 0.8	制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 村の家計簿グループー一枚の月給が生まれるまでー	1959(昭和34)年	(社)農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライドは無し。福島の家庭計簿グループの活動を事例として、視聴者に家計簿をつけるに際して農家の主婦が抱える問題とその克服手段を考えさせる教材。	図書・2冊	鹿児島県農林村婦人の家
274	鹿児島-1 0.9	企画：農林省振興局生活改善課 制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 農家の住まいの改善	1957(昭和32)年	(社)農産漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド有り。住宅改善を具体的な事例を紹介しながら説明した教材。	コピー/図書	鹿児島県農林村婦人の家・生活技術研修館
275	鹿児島-1 1.0	制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 生活改善クラブの歩み	1954(昭和29)年	(社)農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。江崎県生活改善クラブ(千葉県)の事例を取り上げ、視聴者に生活改善の形成の意欲を喚起するために作られた教材。	コピー/図書	鹿児島県農林村婦人の家・生活技術研修館

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
276	鹿児島-1 1 1	制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 生活改良普及員 の一日	1957 (昭和 32) 年	(社) 農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド有り。普及員 の一日を追いつながら普及員としての役割及び 生活改善の状況を描いたもの。	所有/図書	生活技術研修センター、鹿児島 農山漁村婦人の家
277	鹿児島-1 1 2	企画：農林省農業改良局 制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 作業衣の改良	1953 (昭和 28) 年	(社) 農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド有り。一番 粗末に考えられてきた農家の働き着のあり方 の不合理的な作業衣を改良するため、合理的な作業 衣を改良する。改良衣の図本が提示されてい る。出演協力：千葉県安房郡大山村	コピー/図書	(社) 農山漁村文化協 会 鹿児島農山漁村婦人 の家 農林省生活改 善課事務官新見喜代子 氏も担当
278	鹿児島-1 1 3	製作：種足青年読書会 制 作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 土と共に	1953 (昭和 28) 年	(社) 農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し種足青 年読書会の地道な読書活動から生まれたもの で埼玉県自作スライドコンクールで一等入選 した「希望のともじび」「土と共に」の2編を まとめたもの。	コピー/図書	鹿児島農山漁村婦人の家
279	鹿児島-1 1 4	企画：農林省振興局生活改善 課 制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 農村の環境衛生 ―冷えと高血圧	1960 (昭和 35) 年	(社) 農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。農村 業や生活全般の問題点を提起しつつ、その結 果生じる農村の冷えや高血圧を取り上げて 対策を説明したもの。	コピー/図書	鹿児島農山漁村婦人の家 長野県佐久病院若月俊 一氏、神辺謙氏、長野 県田口町保健所の原保 健婦さん、田口地区の 方々の協力で出来たも の。資料は若月氏から の提供。
280	鹿児島-1 1 5	企画・製作：(社) 農山漁村 文化協会	スライド説明台本 生きていく家計簿― 長野県豊科町「むつみ会」の記録から一 歩み	1961 (昭和 36) 年	(社) 農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。初め て家計簿をつけようとした農村婦人達がどの ような問題にぶつかり、どのような解決をし ていったかを描いたもの。	コピー/図書	鹿児島農山漁村婦人の家
281	鹿児島-1 1 6	企画：農林省振興局生活改善 課 制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 仲間がひとり増 えるまで―生活改善実行グループ一年の 歩み	1960 (昭和 35) 年	(社) 農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。生活 改善実行グループの発足から活動軌道に乗 せるまでの状況を描いたもの。	コピー/図書	鹿児島農山漁村婦人の家 鹿児島農山漁村婦人の家 農林省振興局改善課水 上元子事務官、神奈川 県寒川町根岸海岸の生 活改善グループの協力
282	鹿児島-1 1 7	制作者：八原昌元	幻灯スライド説明台本 農家のレクリ エーション	1961 (昭和 36) 年	(社) 農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。農村 婦人も家の中でも堂々と楽しむことを し、気持ちの余裕を持って上手な楽しみ方を 身に付けることが家庭を明るくし、封建制を 崩していくものという考えを背景に「レクリ エーション」を大切に位置付けるために作成 されたものである。	コピー/図書	鹿児島農山漁村婦人の家
283	鹿児島-1 1 8	企画・製作：農山漁村文化協 会	農村のすまいシリーズ1 すまいの考え 方	1966 (昭和 41) 年	(社) 農山漁村文化協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。普及 所や農協で、農村における住宅問題の相談和 手になる際の材料として企画されたシリーズ 教材の第一巻。	コピー/図書	鹿児島農山漁村婦人の家
284	鹿児島-1 1 9	企画：農林省農政生活改善 課 製作：(社) 農山漁村文化 協会	カラースライド説明台本 家事の能率 をよくする器具の使い方 (その1)	1965 (昭和 40) 年	光生館	幻灯スライド説明台本。スライド無し。電気 冷熱庫、電気釜、電気洗濯機の使い方を指導 する教材。	コピー/図書	鹿児島農山漁村婦人の家
285	鹿児島-1 2 0	企画：長野県信連 協力：長 野県農協中央会・農林中金長 野支所 製作：農文協	わたしたちのホームプラン・シリーズ・ スライド/説明台本 母として主婦とし て 幼な子をもつ母のホームプラン	1964 (昭和 39) 年	(社) 農文協	幻灯スライド説明台本。スライド無し。二人 の若い母親の事例により、生活を楽しまなが ら地道な計画を土古にして子ども、家族、自 分のためにいかにホームプランを画くかを示 したものの。	コピー/図書	鹿児島農山漁村婦人の家

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/オリジナル)	入手元
286	鹿児島-1 2 1	企画：農林省農業改良局・製 作：全国農村映画協会 協 力：茨城県那加郡五台村役台 部落の人たち	幻灯説明台本 生活改善グループ一伸び ゆくの会の記録一	発行年不明	全国農村映画協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。普及 員の協力により「伸び行く会」を発見させ て、例会による話し合いから問題発見・解 決・実行を繰り返してきたグループの記録 (主に台所改善)。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
287	鹿児島-1 2 2	企画：農林省農業改良局 製 作：全国農村映画協会 写真 提供：朝日新聞社	幻灯説明台本 みちのくのデンマーク農 場	発行年不明	全国農村映画協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。昭和 初期北海道にいたデンマーク人(酪農の恩人 と称はれた)が昭和26年に日本政府招待によ り山形県新庄市に來日し、デンマーク農法指 導農場をつくった記録。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
288	鹿児島-1 2 3	企画製作：教育スライド研究 所 提供：(株)学芸社	学芸スライド 台所改善のくふう	発行年不明	教育スライド研究所	幻灯スライド説明台本。スライド無し。不合 理な生活をしていても気づくことが少ない農 村の永年の生活習慣を改める契機となるよう に作成されたもの。特に台所改善に焦点をあ てている。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
289	鹿児島-1 2 4	企画製作：教育スライド研究 所 提供：(株)学芸社	学芸スライド説明台本 住居のくふう	発行年不明	教育スライド研究所	幻灯スライド説明台本。スライド無し。農家 の人達自身が住居の不合理に気づき、無駄を 無くすことを自ら考えるようになることを目 的とし、その手掛かりの一つとして作成され た。入口、作業場、風呂場等一つ一つに改善 策を提示している。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
290	鹿児島-1 2 5	製作：日本光芸協	光芸スライド 農村生活改善シリーズ 縁起かつぎの寅さん(迷信追放)	発行年不明	日本光芸協	幻灯スライド説明台本。スライド無し。農村 の迷信についての説明及びそれを払拭する方 法として寅さんと人々の会話を事例にした もの。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
291	鹿児島-1 2 6	企画：(社)日本電設工業会 東京家業懇話会	家庭と電気一適正配線の知識一	発行年不明	東京朝日スライド協	幻灯スライド説明台本。スライド無し。中学 校程度を以て一般家庭の婦人層に呼びかけ るものとして電気の安全な使い方、能率的な 利用の仕方について、適正配線を見取るよう に構成されたもの。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
292	鹿児島-1 2 7	製作：佐人川恵一 暮らしのくふう・製作委員会	暮らしのくふう(2)農村の生活改善 解説書	1951(昭和 26)年	東京朝日スライド協	幻灯スライド説明台本。スライド無し。農村 生活の改善という問題を解決するのではな く、米口を発見する為の素材を提供する目的 で作成された。衣食住をはじめに結婚式や育 児にもふれており、地域により事業が異なる というところを前提に画面で答えを出す方式を 避けている。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
293	鹿児島-1 2 8	製作：佐人川恵一 暮らしのくふう・製作委員会	暮らしのくふう(3)嫁の座 (読売スライド文化賞受賞 文部省選 定)	1954(昭和 29)年	東京朝日スライド協	幻灯スライド説明台本。スライド無し。生活 における矛盾や不合理が生活に対する非科学 性や家長長制度から起因するものとして、嫁 である農村婦人の苦勞に焦点をあて、生活の 仕方を検討しあうことを提起するもの。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
294	鹿児島-1 2 9	企画：全共連 製作：全農映	わが家を明るく	発行年不明	全国農村映画協会	幻灯スライド説明台本。スライド無し。長野 県佐久地方を事例に健康保健に関する問題点 の提起及び改善方法を説明している。	コピー/図書	鹿児島県農村婦人の家
295	鹿児島-1 3 0	農林省振興局生活改善課	東南アジア生活改善技術会議報告書 生 活改善技術会議報告(参考)日本におけ る生活改善普及事業	1957(昭和 32)年	農林省振興局生活改善課	1956年東京で開催された東南アジア地域にお ける生活改善技術会議の報告書。主催である FAOが作成。	コピー/報告書 子	鹿児島県農村婦人の家
296	鹿児島-1 3 1	農林省振興局生活改善課	生活改善グループの動き	1958(昭和 33)年	農林省振興局生活改善課	全国各地の生活改善グループの活動を写真付で紹介	コピー/写真付冊 子	鹿児島県農村婦人の家

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究所/オリジナル)	入手元
297	鹿児島一 3 2	農林省振興局生活改善課	乳地における生活の改善	1959 (昭和 34) 年	農林省振興局生活改善課	農村の現地で実際にどのような形でおこなわれているのか4つのねらい(健康、生活実、養育、民主的な社会)に絞って紹介したもの。	コピー/写真付冊子	鹿児島県農林局農林課
298	鹿児島一 3 3	鹿児島市 鹿児島地区農業改良普及所	生活改善グループの動き(第一回、生活改善推進大会)	発行年不明	鹿児島市 鹿児島地区農業改良普及所	生活改善の活動状況(労働時間、台所改善、保存食、体験交換)を写真や図表で簡潔にまとめたもの。	コピー/パンフレット	鹿児島県農林局農林課
299	鹿児島一 3 4	鹿児島市 鹿児島地区農業改良普及所	生活改善グループの動き(第九回家庭生活改善発表大会)	発行年不明	農林省振興局生活改善課	生活改善の活動状況(家計簿、共同購入、作業衣、栄養確保等)を地域ごとに発表されたものを写真付きで説明したもの。	コピー/パンフレット	鹿児島県農林局農林課
300	鹿児島一 3 5	鹿児島農政部農業改良課	粉食の手びき その一	1956 (昭和 31) 年	鹿児島農政部農業改良課	食料問題解決の一策として粉食普及(粒食から粉食への移行)が注目されている。その一環として種類の作り方・利用法、おやつ作り方をまとめている。	コピー/図書	鹿児島県農林局農林課
301	鹿児島一 3 6	鹿児島県ラジオ農業学校キリスト編成委員会	NHK 鹿児島県 ラジオ農業学校	1962 (昭和 37) 年	鹿児島県農業技術会 鹿児島県ラジオ農業学校 NHKサービスマスター鹿児島支所	ラジオ農業学校2年目にあたり、農業経営や生産技術に役立つ知識をテキストとしてまとめたもの。農業経営、稲作、生活、社会、保健衛生等の項目別に整理されている。	コピー/図書	鹿児島県農林局農林課
302	鹿児島一 3 7	著者・編者不明	鹿児島県生活改善運動	発行年不明	発行所不明	スライドにみて説明台本なし。桜島町地域の活動、東島・白梅グループの活動状況が紹介されている。	コピー	鹿児島県農林局農林課
303	鹿児島一 3 8	出水東部地区農業改良事務所	農村生活改善グループのしおり	1956 (昭和 31) 年	発行所不明	生活改善グループの目的、運営方法、歌等が記載されており、グループを充足しようとする人向けに作成された簡潔なパンフレット。	コピー/冊子	鹿児島県農林局農林課
304	鹿児島一 3 9	農林省農政局生活改善課編	農村に生きわたしたち 生活改良普及員の日記より	1964 (昭和 39) 年	大蔵省印刷局	農村における緊かな生活問題に絞り、普及員の苦心談をまとめたもの。兼業化に伴う主婦農業、農業の近代化と生活関連問題及び主婦の健康と家事労働に関して整理されている。	コピー/冊子	鹿児島県農林局農林課
305	鹿児島一 4 0	鹿児島県	経済自立シリーズ第8集 農村婦人の生活一水稲早期作地帯における農業期を中心として	1963 (昭和 38) 年	鹿児島県	農業技術の進歩や労働力流出による農村変化が農村婦人の生活にどのような影響を与えているかを調査(生活時間調査)し、分析したもの。	冊子/コピー	鹿児島県農林局農林課
306	鹿児島一 4 1	鹿児島県農政部	農業自営者研修テキスト 主婦研修くらしと主婦	発行年不明	鹿児島県	栄養的経済的な食事摂取方法、機能的衛生的な衣服及び住居の整え方、病予防、近代的な生活設計等の項目について図表入りで説明されている。	コピー/冊子	鹿児島県農林局農林課
307	鹿児島一 4 2	鹿児島県農政部技術普及課	農業経営者研修テキスト 農村婦人研修(部門) くらしと婦人	1964 (昭和 39) 年7月	鹿児島県	栄養、衣服、住居、労働と休憩、衛生、家庭経済、民主的な家族関係等の項目について注意点を改善点等がまとめられている。	冊子/コピー	鹿児島県農林局農林課
308	鹿児島一 4 3	鹿児島県農政部	農業経営者研修テキスト 若妻研修くらしと若妻	発行年不明	鹿児島県	食事の摂取法、衣服着用、見通しのある生活のあり方、望ましい生活態度等の項目別にそれらの目安と留意点等が整理されている。	冊子/コピー	鹿児島県農林局農林課
309	鹿児島一 4 4	鹿児島県農政部	農業経営者研修テキスト 農村婦人研修(部門) くらしと婦人	1964 (昭和 39) 年11月	鹿児島県	食事の摂取法、衣服着用、家庭経済運営、民主的な家族関係等について説明されている。	冊子/コピー	鹿児島県農林局農林課

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究所有/ オリジナル)	入手元
310	鹿児島-1 45	鹿児島県農政技術普及課	農業自営者研修テキスト 農村婦人研修 (部門) くらしと若人	1984(昭和 39)年	鹿児島県農政技術普及 課	清潔で機能的な衣服着方法、食事のとり 方、家計簿記入方法、能率的台所、望ましい 生活態度に関してまとめられている。	冊子/コピー	鹿児島県農政技術普及課
311	鹿児島-1 46	鹿児島県経営技術課	鹿児島県改良普及事業50周年記念誌 鹿 児島の普及事業	1998(平成 10)年	鹿児島県協同農業普及事 業50周年記念誌	鹿児島県の普及活動の歴史、特徴ある活動と その成果、各普及所に関する情報が整理され ている。	図書/コピー	鹿児島県農政技術普及課
312	鹿児島-1 47	児玉昌子	農村女性の役割向上	発行年不明	児玉昌子	生活改善事業開始後30数年間の農家生活の移 り変わりに対応しつつ、その時々々の問題を捉 え、改善を進めた概略及び事例	コピー/冊子	鹿児島県農政技術普及課
313	鹿児島-1 48	鹿児島県農林技術協会	緑地 No. 84	1980(昭和 55)年	鹿児島県	農業資料、技術資料等農業関連の機関誌	コピー/冊子	鹿児島県農政技術普及課
314	鹿児島-1 49	鹿児島県農林技術協会	緑地 No. 80	1979(昭和 54)年	鹿児島県	同上(農業機械の紹介、森林保護、農村振興 運動等)	コピー/冊子	鹿児島県農政技術普及課
315	鹿児島-1 50	阿正	農業鹿児島 2月号	1971(昭和 46)年	鹿児島県農業改良普及研 究会	村づくり農業技術、生活に関する機関誌。イ ンタビューした数人の方々が掲載されてい る。	コピー/冊子	鹿児島県農政技術普及課
316	鹿児島-1 51	川内農業改良普及所 島支所	里村に生きるわたしの役割(農業高齢者 向上対策事業2年目)	1986(昭和 61)年	川内農業改良普及所 島 支所	農村高齢者役割向上対策事業を記念し、伝承 されている技術や考案された技術をまとめた もの。	冊子/コピー	鹿児島県農政技術普及課
317	鹿児島-1 52	川内農業改良普及所 島支所	里村に生きる高齢者の役割をさぐる(農 村高齢者役割向上対策事業実施調査のま とめ)	発行年不明	川内農業改良普及所 島 支所	昭和59年から3年間実施された農村高齢者役割 向上対策事業における1年間に実施された、高 齢者と彼らを取り巻く人々の意向調査を分析 したものの。	冊子/コピー	鹿児島県農政技術普及課
318	鹿児島-1 53	横川町農産加工生活改善グ ループ	横川町農産加工生活改善グループ 25周 年記念誌 丸岡漬とともに	1996(平成 8)年	横川町農産加工生活改善 グループ	丸岡漬の歴史、売上額等記録、普及員からの 寄稿をまとめたもの。当該グループの規約や 名簿が添付されている。	冊子/コピー	鹿児島県農政技術普及課
319	鹿児島-1 54	鹿児島県農業改良普及職員協 議会	魂ゆずり	1988(昭和 63)年	発行所不明	退職する普及員の体験を通じた寄稿をまと めたもの。	コピー/冊子	鹿児島県農政技術普及課
320	鹿児島-1 55	島地区生活研究会グループ 連絡協議会、島地区農業改 良普及事業協議会	素風1	2000(平成 12)年	島地区生活研究会グルー プ連絡協議会、島地区農 業改良普及事業協議会	里村、上村、鹿島村、下村の4村のグ ループ員が書き綴った回覧ノートをまとめた もの。	コピー/冊子	鹿児島県農政技術普及課
321	鹿児島-1 56	鹿児島県新聞	「松元で国際ナンコ大会」新聞より抜粋	発行年不明	鹿児島県新聞	第12回松本町商工会国際ナンコ大会の開催記 事。	新聞/コピー	鹿児島県農政技術普及課
322	鹿児島-1 57	村岡多津	「鹿児島島の郷土料理」『花鳥歳歌9月 号』	1998(平成 10)年	発行所不明	鹿児島県郷土料理のレシピ。村岡多津氏をば じめ、生活改良普及員の協力によりまとめら れた鹿児島島の郷土料理の本。資料として頂 いたのは抜粋した部分及びそれに関する掲載 された記事。	コピー/コピー	鹿児島県農政技術普及課
323	鹿児島-1 58	萩元 洸	「一頁の小説」『同人誌 木馬30 第三 十号』	2000(平成 12)年	木馬事務局(鹿児島県)	同人誌に農民文学の書き手として活躍した女 流作家(九州文学同人)の萩元洸氏が寄稿し たもの。	冊子/冊子	鹿児島県萩元洸氏
324	鹿児島-1 59	萩元 洸	春を待つ村	1998(平成 10)年	九州文学社	元生活改善グループ員であった作者が農村及 び農村女性の暮らしを中心に描いたもので9短 編がまとめられている。	図書/図書	鹿児島県萩元洸氏
325	鹿児島-1 60	九州ブロック家庭管理専門技 術員研究会	わが家の台帳	発行年不明	鹿児島県生活改善グルー プ連絡研究会	わが家の歴史、生活技術伝承、財産管理、交 際関係等重要な事項を記録し、子孫に継承し ていくことにより、スムーズな世代交代・人 間関係を築けるように作成された記録台帳	原本/冊子	鹿児島県農政技術普及課

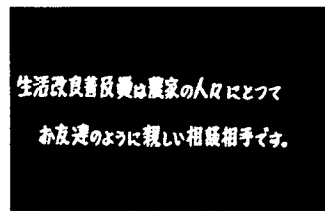
通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
326	鹿見島ー1 6 1	鹿見島県生活改善グループ連 絡協議会	21世紀にはばたくグループ 30年の歩み		鹿見島県農村婦人の家	これまでの生活改善をまとめ、紹介するもの。 鹿見島で生活改善活動を推進するお母さん 達の活躍ぶりを整理して紹介するもの。	ビデオ	鹿見島県農村婦人の家
327	鹿見島ー1 6 2	鹿見島県生活改善グループ連 絡協議会	1. どんと鹿見島"みぞ" 2. やめ られません生活改善 3. どんと鹿見 島" いるいるのヤル気のおかあさん団"	平成8 (1996) 年	鹿見島県農村婦人の家		ビデオ	鹿見島県農村婦人の家
328	鹿見島ー1 6 3	鹿見島県農村婦人の家	生活改善普及事業ビデオライブラリー 目覚める男性たち 農山漁村における パートナーシップの推進	発行年不明	鹿見島県農村婦人の家	女性達の生活運動に影響を受けて目覚める男 性達に焦点をあて、変化していく様子、生活 に取り組みようになる様子を描くもの。	ビデオ	鹿見島県農村婦人の家
329	香川ー1 0 1	(財) オイスクア四国研修セン ター	オイスクア四国センター 30年のあゆみ	平成 10(1998) 年	(財) オイスクア四国研修 センター	人づくり研修の拠点の一つである四国研修セ ンターの開所30周年誌。	原本/冊子	(財) オイスクア四国研 修センター
330	香川ー1 0 2	国際協力事業団四国支部 (財) オイスクア	平成11.12.13年度 オイスクア農村女性の ための生活改善と地域開発研修コース (第1.2.3回) 研修実施要領	平成 12.13.14 (2000.200 1.2002) 年	(財) オイスクア四国研修 センター	平成11年度より始まった研修コースの目的、 日程、教材内容等概要全般がそれぞれ年度別 にある。	原本/冊子	(財) オイスクア四国研 修センター
331	香川ー1 0 3	(財) オイスクア四国研修セン ター	平成12年度 オイスクア農村女性のための 生活改善と地域開発研修コース (第1.2.3 回) 研修実施報告書	発行年不明	発行所不明	報告書の一部で講義の概要や研修写りがまとめ られている。	コピー/図書	(財) オイスクア四国研 修センター
332	香川ー1 0 4	(財) オイスクア	オイスクア	平成12 (2000) 年	(財) オイスクア	オイスクアの活動概要、学校法人中野学園オイ スクア高等学校・オイスクア開発教育専門学校等 のパンフレット等。	パンフレット	(財) オイスクア四国研 修センター
333		Resource book for rural development in Malawi	Yasuko Kusakari Midori Yajima	平成 13(2001) 年	JICA/IOCV Malawi office	青年海外協力隊員の活動記録を基にした フィードバック向けの実用的手法を紹 介。	冊子	草薙氏
334		富田祥之亮	「いま、足元にある資源を生かすアジア 農村女性の知恵 傾斜地農業、有機野菜 自給、生活資源カATALOG調査から」 「自 然ととものに平和をつくる 2002年現代農 業2月号増刊」	平成14 (2002) 年	(社) 農山漁村文化協会	1996～2001年の間フィリピンで実施 された「農村生活改善研修強化計画」に因す る富田氏の知見が傾斜地農業、有機野菜自給 運動、生活資源の切り口から簡潔に述べられ ている。	コピー/コピー	富田祥之亮氏 (服部入 手)
335		富田祥之亮	「農村生活改善手法による国際協力の行 方 フィリピン農村生活改善研修強化計 画終了とその後」 『農林経済 2001年10 月15日号』	平成13 (2001) 年	時事通信社	フィリピン農村生活改善研修強化プロジェク トの概要、活動内容をまとめたもの。	コピー/コピー	富田祥之亮氏 (服部入 手)
336		片倉和人	「熱帯農村の自給的暮らしはどのように 営まれているか? フィリピン・ボホー ル島の農村生活調査から」 『農林経済 2000 12月18日』	平成12 (2000) 年	時事通信社	フィリピン・ボホール島の生活状況、経済等 概要が簡潔に記述されているもの。	コピー/コピー	富田祥之亮氏 (服部入 手)
337		片倉和人	「楽しくワークショップでむらづくり フィリピン教育調査協会 (PETA) の 方法に学ぶ」 『農林経済 1999年11月4 日』	平成12 (2000) 年	時事通信社	「熱帯農村の自給的暮らしはどのように営ま れているか? フィリピン・ボホール島の農 村生活調査から」 『農林経済 2000 12 18	コピー/コピー	富田祥之亮氏 (服部入 手)
338		国際協力事業団農林水産開発 調査部	農林業協力のためのWID/Jエンター ハンドブック	平成11 (1999) 年	国際協力事業団農林水産 開発調査部	ジェンダー配慮への取り組みを理論的にまと めたのではなく、実例をもとにした具体的な 実用書。	コピー/冊子	富田祥之亮氏 (服部入 手)
339		JICA/ATI	Training Service Enhancement for Rural Life Improvement Program Implementation Manual	平成11 (1999) 年	JICA/ATI	農村生活向上プログラム強化訓練実行マニユ アル。準備段階からプログラムの実行、評価 までの流れを詳細に記述。	コピー/冊子	富田祥之亮氏 (服部入 手)

通し番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/コピー/冊子)	入手元
340		Training Services Enhancement Project For Rural Life Improvement (TSEP-RLI)	A Trainer's Guide on Household Vegetable Production for Improvement of Nutrition and Household Financial Management Program	平成13 (2001) 年	ATI-JICA	栄養改善・家庭経済のマネージメント向上のためのガイドブック。抄録として訓練関係書類の参考書形式が添付。	コピー/冊子	富田祥之亮氏(服部入手)
341		Training Services Enhancement Project For Rural Life Improvement (TSEP-RLI)	A Facilitator's Guide for Improvement of Community Environment Program	平成13 (2001) 年	ATI-JICA	地域環境改善プログラムのファシリテーターガイド。プログラムの構成、運営管理、評価等に関してまとめられている。	コピー/冊子	富田祥之亮氏(服部入手)
342		Training Services Enhancement Project For Rural Life Improvement (TSEP-RLI)	A Facilitator's Guide for Revolving Fund Scheme	平成13 (2001) 年	ATI-JICA	ファンド・スキームのガイド。マイクロローファイナンスのスキーム及び事例が詳細にまとめられている。	コピー/冊子	富田祥之亮氏(服部入手)
343		Training Services Enhancement Project For Rural Life Improvement (TSEP-RLI)	Prototype Training Design of TSEP-RLI programs in Bohol Model Center (January, 1998-June, 2000)	平成12 (2000) 年	ATI-JICA	ボホールセンターにおけるTSEP-RLIプログラムの基本的な訓練企画書	コピー/冊子のコピー-A4版	富田祥之亮氏(服部入手)
344		Department of Agriculture Training Institute	TSEPRLI Newsletter July-December 2000	平成12 (2000) 年	Department of Agriculture Training Institute	TSEP-RLIのニュースレター。プロジェクトの進捗状況等を紹介している。	コピー/パンフレット	富田祥之亮氏(服部入手)
345		Department of Agriculture Training Institute	TSEPRLI Newsletter January-June 2001	平成13 (2001) 年	Department of Agriculture Training Institute	TSEP-RLIのニュースレター。プロジェクトの関係者等の紹介。	コピー/パンフレット	富田祥之亮氏(服部入手)
346		(社) 農村生活総合研究センター	農生研だより No. 163	平成13 (2001) 年	(社) 農村生活総合研究センター	富田祥之亮氏が「世界に通用する農村生活改善手法を求めて」と題し、フィリピンの事例報告をしている。あとごぎや家庭経営協定等の研究報告も掲載。	冊子	富田祥之亮氏(服部入手)
347		(社) 農村生活総合研究センター	農生研だより No. 156	平成12 (2000) 年	(社) 農村生活総合研究センター	片倉和人氏のフィリピン農村生活改善強化プロジェクト、研修員受入事業の報告がなされている。	冊子	富田祥之亮氏(服部入手)
348		青年海外協力隊	地域活動に取り組み、村落を中心に活動する隊員を対象とした研修(2001.12.11~12.15) 村落開発普及員	平成13 (2001) 年	青年海外協力隊	村落隊員候補生を対象とした訓練所入前前の研修資料。農改、識字教育等を扱っている。	コピー/コピー	河村先生より矢敷入手
349		青年海外協力隊	平成12年度3次研修 青年海外協力隊 地域看護技術研修	平成12 (2000) 年	青年海外協力隊	地域看護、母子保健、結核対策等の項目別の研修資料。	コピー/コピー	河村先生より矢敷入手
350		青年海外協力隊	青年海外協力隊派遣前研修(農村生活技術普及のために)について	平成10 (1998) 年	青年海外協力隊事務局	派遣先指導活動の効率的推進を目的とした研修用資料。農村生活水準向上の視点、基本的考え方が記述されている。	コピー/コピー	三ツ林さんより矢敷入手
351		農林水産省農産園芸局 婦人・生活課	あなただも改良普及員になりませんかー「生活関係」改良普及員資格試験受験のてびきー	平成7 (1995) 年	農林水産省農産園芸局 婦人・生活課	普及員の仕事内容、関連機関の組織図、受験情報等が掲載されたパンフレット。	パンフレット原本	河村先生より矢敷入手
352		富田祥之亮	現代のエスプリ 変貌する農村生活・文化と農業経営 昭和59 (1984) 年 第203号	昭和59 (1984) 年	至文社	農家のくらし、村落の連帯と相互扶助、農村社会/変化の諸相、等の項目別に13人の執筆者が小論文をまとめている。	図書	富田祥之亮氏
353		富田祥之亮	「むら仕事考」『信濃』代43巻入9号通巻題501号	平成3 (1991) 年	近代工藝社	長野県の木曾を事例にむら仕事とは何か、その内容、パターンの関して書かれた小論文	コピー/冊子	富田祥之亮氏
354		(社) 農村生活総合研究センター	むらと人と暮らし 3-1 環境点検地図による身近な環境とりもどし作戦	昭和61 (1986) 年	(社) 農村生活総合研究センター	事例を紹介しつつ、環境点検地図を作成する際の準備・まとめ方を述べている。	コピー/冊子	農林水産省(鈴木雅之氏)

通し 番号	地域別番号	著者・編者など	書名	発行年	発行所	コメント	形状(研究会所有/ オリジナル)	入手元
355		(社)農村生活総合研究センター	むらと人と暮らし 3・2 美しい農村の再生をめざした景観資源調査法	昭和51 (1986)年	(社)農村生活総合研究センター	景観を形成する構造を説明する(=資源論)ための基礎調査法が紹介されている。	コピー/冊子	農林水産省(鈴木雅之氏)
356	鹿児島-1 64	農林水産省農畜園芸局婦人・生活課	私たちのくらし・IV-むらの婦人の生活誌-農山漁家生活関係技術資料集 平成元年報告書	平成元 (1989)年	(社)農村生活総合研究センター	農山漁家を支える女性達の執筆による生活記録を収集(主に九州の事例)	コピー/冊子	鹿児島農林水産省(小國和子氏)
357		監修:青木志郎	Field Work Book 集落計画へのワークショップ術	平成7 (1995)年	静岡県農政部	住民主体の集落発展の手法を中心にした基礎編・実践編・応用編という段階形式の手引書。	コピー/冊子	農林水産省(鈴木雅之氏)
358		農林水産省農畜園芸普及部 生活改善課	手づくりのむら	昭和58 (1983)年	静岡県農政部	生活改善関係専門技術員技術確立研修に関し てまとめたもの(事例あり)	コピー/冊子	農林水産省(鈴木雅之氏)
359		東敏雄編	【叢書】聞きがたり農村史Ⅱ 女性の仕事と生活の農村史	昭和64 (1989)年	静岡県の水書房	著者が農村を訪ねて老人(女性)にインタビューをした記録。聞きがたり形式。	コピー/図書	水野正巳氏
360		企画・製作:板硝子協会 撮影:千代田映画	一色部落の暮らし	昭和29 (1954)年	板硝子協会	スライド及び台本。台所から生活改善を始めた愛知県一色村の記録。	コピー/図書	吉田豊氏



1. 生活改良普及員の日
企画 農林省振興局
製作 農山漁村文化協会
スライドデジタル化: 生改研究会



2. 生活改良普及員は、農家の人人にとって、友だちのように親しい相談相手です。



3. 「生活をよりよくしていくこと。」これは誰でも望んでいることですが、しかし、いままでの生活の仕方を多少でも変えていこうとすることは、なかなか容易なことではありません。
生活改良普及員は、農家の人人が希望と勇気をもって生活をよりよくしていけるように、農家の生活の中に深く入って協力します。



4. 朝、普及所に出勤して、今日一日の仕事を見定めると、早速受持の地区に出かけます。
道で「お早よう」と、よびとめられ、作業衣の工夫をみせてもらうこともあります。
こんな時には、「ここはこうしたらどうでしょう」と、気づいたところを教えてください。



5. 緑の自転車を遠くから見つけて、「うちの台所も、もっと便利にしたいと思うけど、こんど寄ってくれませんか」と野良仕事の手を休めて相談をもちかけられることもあります。
こうした通りすがりのささやかな一コマも、生活改良普及員の仕事の大事な一部分なのです。



6. 普及員は農家を訪問します。
訪ねていった家がちようどすの時は「これお母ちゃん構つたらあげてね」と、用事を紙に書いて子供にたのみます。
たびたび訪ねているうちに、私たちは子供にとつても身近かな人と思われるようになります。



7. また普及員は、気軽に縁側に腰かけて、こまかい生活の相談相手にもなります。
「いまはこうしているけど、農繁期になると、どうしても子供なんかかまっていられなくなる」
そういう悩みを訴えられることもあります。
そんな時は、どうしたら農繁期のくらしを、もつと上手に切りぬけられるか、私たちがもいっしょに考えます。



8. 野良着のつくろいをする農家の人たちには、
「いたみやすいところはこうして……」
と、つくろいの仕方実物を手にとつて、親切に教えてあげます。



9. 普及員の訪問が度重なると、
「流しのまわりをもつと便利にしたいが……」
という相談ももちかけられます。
そんな時は
「このところへタナを作つたら、流しで洗つたものもすぐのせられて便利じゃないですか」
というように、農家の人たちの立場になつて考えて手伝います。



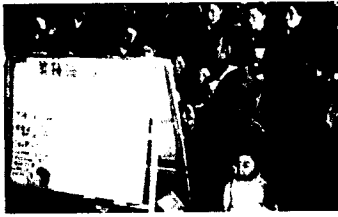
10. こうして農家の人たちと普及員の間には、親しみが増し、信頼が深まってきます。
すると、私たちの方から訪ねていだけでなく、だんだん農家の人たちの方から普及所に相談を持ち込んで来るようになってきます。



11. 新しい受持地区では、私たち普及員は、進んで部落の集りに出ていきます。
そこでみんなと顔なじみになり、その生活のようすを知るように努力します。



12. 新しい受持地区ではまず、農家の人人が生活に対する関心を高めるために、大ぜいの人の集る展示会を開きます。
展示会では、わかりやすい絵や、写真やグラフを使って、その地区の生活の様子や問題を知らせます。



13. 展示会では、グラフや絵で示されたものを、更にくわしく親切に説明して、農家の人人の理解を深めるように努力します。



14. また普及員は、実物を示して一層わかりやすくなるように工夫します。農家の人人は、こうした実物によつて、自分たちの毎日の食べ物のとり方がかたよつていることや、農繁期の大事な栄養が不足していることなどが、はつきりわかります。



15. 農繁期の展示会には、男の人も大ぜい出てきます。家の経営が、男の人ににぎられている日本の農家では、男の人人の中にも、生活に対する関心を高める必要があります。



16. 普及員は、部落の座談会にも出席して話します。農家の生活の問題点について、わかりやすい図表を使つて説明し、あとでみんなの身近な問題について話しあいます。



17. 座談会では、幻灯やフランドル板を使つて、日常の身近な生活の問題について、興味をよびおこしながら話しあいに入ります。



18. 普及員は、展示会を開いたり、会合に出席したりするばかりでなく、講習会にも出かけて実際の指導もします。料理の講習会では、農家の人人は、座先にコンロを持ちよつたり、学校の調理室を借りたりして、保存食の作り方や手持の材料でできるお八つの作り方などを習います。



19. 普及員は、洗濯の講習会にも出かけます。
生地をいためない洗い方などを、実地にやってみせながら、農家の
人人が、新しい知識や技術を一つ一つ身につけていくように努めま
す。



20. 普及員は、生活の生きた場をとらえて、農家の人人が、自分のふだ
んの生活を深く考える人になるようにつとめます。
共同作業のひるやすみのひととき、こも生きた生活の研究室です。
みんなに変わるがわる改良作業衣を着てもらって、その改良の要点
を研究しようにします。
こうして、生活にすぐ役立つ勉強をつみかさねていくうちに、農家の
人人の中に生活をよりよくしようという積極的な態度が育つてきます。



21. また普及員は、農家の人人と親しくなり、地区の生活の実情もはつ
きりわかるようになると、生活改善グループを作って共通の問題をみ
んなで解決していくように努力します。
グループで普及員は、農家の人人とつとて親しい相談相手です。
グループ員は生活をよりよくする共同のいとなみの中で、互いに信頼
と尊敬を深め、腹を割つてうちとけて話しあうようになっていきます。



22. 普及員は、グループ員とともに歩みます。普及員は、グループ員が
自分にあわせて工夫した作業衣を、お互いに見せあつて批評したり
感想をいいあつたりする場をつくります。
この間に、グループ員の中に生活に対する考え方や、理解を深め、
一人一人が考える農民に育つていくよう力をかけてあげます。



23. グループ員の家庭で、台所を改善したいという希望が強くなれば、流しの高
さをきめる場合にも、だれにもわかるものさしを作つて、使う人にちようどよい
流しの高さの決め方を実地に指導します。
こうして、農家生活に深く入つていくうちに、家族全員が、生活をよりよくする
方法を学ぶようになり、生活改善に対する関心も高まります。



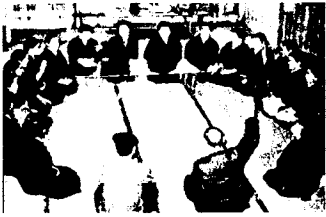
24. 農繁期の労働が重すぎるという問題については、グループ員がそ
れぞれの体重をはかり、それをまとめてグラフで表わしてみます。
その結果は、いそがしくなるに従つて体重が減つてくるということが
はつきりします。
だから農繁期をやせないで過すにはどうしたらよいかという問題につ
いて、普及員はみんなの相談にのります。



25. グループの勉強が進んでくると、栄養をとるのに、にわとり(廃鶏)の料理の仕方を習いたいというような相談ももちかけられます。そうした場合には、普及員は、手さばきもあざやかに、にわたりの実物を使って、臓物、骨、肉と、ときほぐしてみせ、無駄のない料理の仕方を教えます。



26. グループで勉強しているうちに、農家の人人は、生活をよりよくしようという希望と自信を強く持つようになってきます。そしてそのための資金をなんとかしたいという問題の前に立たされます。私たちは、資金を生み出す方法の一つとして、農業の余暇を利用してシイタケの栽培をすすめます。そういう資金作りのために、無理をしないように、農業全般の事情をながめた上で、対策を立てるよう指導します。



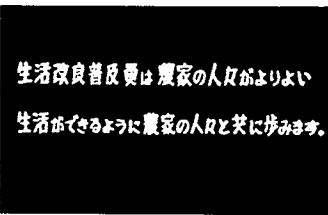
27. 生活改良普及員は、グループの人たちが自分の力で活動できるように、努力します。このグループはいまは立派にひとり歩きができるようになってきました。しかし、ここまでくるまでには、はじめは普及員におんぶし、次にはグループ員同志二人三脚で互いに手をつないで助けあいながら、一つの段階を邁つて育つてきたのです。



28. 私たち普及員は、明日の農村をになう若い4Hクラブの人たちの間では、よりよい農村生活をきずくための具体的な生活の仕方を教える先生として活動します。



29. グループの集まりは、時にはこうした楽しい会も開きます。うたを忘れたかなりやのように、日頃は労働に追われうたをうたう余裕もない農家の人人にとつて、グループの集まりは、いこいの楽しい会もあります。私たちは働く農村の人人の中に、明るくともしびのようほろほろと、みんなの気持ちをひきかたて、あきらめをこえて生きる喜びを与える親しい友だちです。



30. 生活改良普及員は、農家の人人がよりよい生活ができるように、農家の人人と共に歩みます。



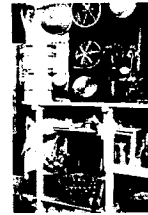
31. 生活は、その土地により家によつてさまざまですから、その改良のねらいも、仕方みなちがいます。生活改良普及員は、一人一人が自分の生活にかなった改善ができるように農家の人人に力をかけてあげます。例えば、台所を改善しようとする場合にも農家の身になつて一緒に考えてあげます。



32. 昔からの台所。そこには窓らしいものもなし、煙のくすぶるカマドは、何百年の昔のままです。そして炊事に必要な流しや調理台の設備も悪く、物のおき場もきまつていません。これでは炊事をする主婦はからだが疲れるばかりです。しかし、こうした暗く不便な農家の台所も、私たち生活改良普及員が相談相手になりながら、だんだんと改善されつつあります。



33. 明るい台所。昔の人が想像したこともないガラス窓のある台所。煙突のある改良カマド。炊事しやすいように設備された流しや調理台。いま生活改良普及員を相談相手として、こうして日本のいたるところの農家ではじめている台所改善は、農家の生活をどんなに明るく気持ちよいものに行っていることでしょうか。



34. 台所の改善は、少しのお金で出来ることから一歩一歩進められています。こうしてありあわせの材料で手作りの調理台をこしらえたり、クギを打ちつけて物の置き場所をきめ、炊事がしやすいように工夫することも大事な台所改善です。



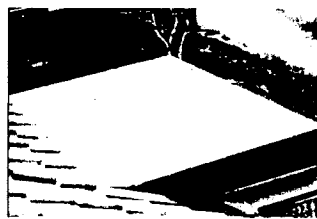
35. 水は人間の毎日の生活になくてはならないものですが、その水汲みのために、ずいぶんからだを疲れさせているところもあります。こんなにして家から遠くはなれた一つの井戸から水を運んでいるところでは、水汲みに使われる時間と労力は、一日の家の中の仕事の大きな部分を占めています。



36. 井戸があつても、このように母家から遠かつたり、井戸にフタがなかつたり、骨の折れる車井戸やツルベで水を汲んでいるところもあります。こういうところでは、まづ井戸にフタをすることや、ツルベ井戸をポンプにおおすことから改善がはじめられます。



37. 水汲みの労力を少くするためには、井戸の水を一度タンクに上げ、それをこして台所の流しや、そのほか必要な場所に鉄管でくばること一つの方法です。



38. 日当りのよい屋根の上や庭先に、水槽をそなえて、自然の太陽熱を利用して水槽の水を温めることも工夫されています。水槽で温めた湯は、そのまま風呂に鉄管で引いて使いますから、風呂を沸かす燃料も手間も非常に少くすみます。



39. 農家生活の中で、改善しなければならないことは、台所や水だけではありません。昔ながらの野良着は、帯をしめたり、胸をしめつけたりして、重い農業労働を一そう働きにくくしています。その上、ほころびやすく、よごれやすいので、つくろいや洗濯の手間も多くかかります。



40. 普及員は、農家の人人が、自分たちで工夫して、昔からの不便な野良着を働きやすいものに改良していかれるように、力をかけてあげます。動きやすい改良作業衣を工夫した農家の人たちは、野良仕事の合間にも、お互いに批評しあつてよりよい作業衣の研究をすすめています。



41. 農家の食生活は、季節に多くとれるものをとりがちなので栄養がたよっています。私たち普及員は、農家の人人がもつと栄養のある食生活に変わるように、農閑期には、手持ちの材料でできる栄養のととのつた、おいしい食事のとり方の研究会や講習会を開きます。こうした勉強をつみかさねていくうちに、農家の人人は、年間の野菜は計画的に栽培することがよいということにも気がついていきます。



42. 農家の食事は、からだに大切な動物性の蛋白質が不足しがちです。農家で、動物性蛋白質を多くふくむ食べものを、お金をかけずにとれるように、私たちは、農家に鶏を飼つて計画的に年間の自家用とすることをすすめます。



43. 農家の人人が、一番からだを使う農繁期には、労働のげしさにくらべて栄養が不足します。
いそがしい時期にも、手をかけずに栄養が充分とれるように、私たちは、農家の人々に農繁期の保存食の作り方を教えます。



44. 私たち普及員は、農家の人人の生活をよりよくする共同のいとなみをよりよく育てていくことに努力します。
農繁期には、主婦の炊事労働の負担を軽くし、栄養を充分とれるようにするため、共同炊事を農家の人人にすすめたり、うまく運営できるように協力したりします。



45. 共同のパンやきまを作つて、農家の人人が地粉でパンがやけるように私たちは、パンのやき方の指導もします。
いそがしい農家では、一日一食パン食をとりにいれることによつて、主婦の炊事の手数がどんなに助かることでしょう。



46. 農家の人人に、パン食をとりにいれることと並行して、普及員は、グループで山羊を飼うことをすすめています。
資料や手間もあまりかけずに、簡単に飼える山羊は、農家の食生活に動物性蛋白質を与えるものになります。



47. 野菜やくだものは、出さかりの時期にはありあまる程でも、時期をすぎるとほしくても手に入らないものです。そうした食物が保存できるように、瓶詰加工の技術指導をします。こうしてグループで共同の器具や機械をもつていれば、むずかしいと思われている瓶詰加工も簡単にできます。



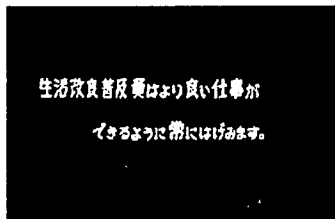
48. ネコの手も借りたいといわれる農繁期に、このように放り出されている小さい子供の問題を解決するために、普及員は農繁期保育所の共同の仕事をつけます。



49. お寺や神社や公民館の片隅でひらかれる農繁期保育所は、たとえどんなさやかないなみであろうとも、普及員は生活をよりよくする共同の仕事として大切に育てます。
そして、そのいなみが、農家の人人にほんとうに役立ち、子供たちを少しでもよりよい生活の中で安全に守れるように指導します。



50. 生活改良普及員は、グループの共同のいなみの中で、そのグループ員の一人一人が、考える農民として、生活をよりよくする勇気と実行力をもった農民として育つように指導します。
そして、グループが生活改善をすすめていく中で、家族同志がなごやかに話しあい、明るい光に向ってみんなが手をとりあつて一歩一歩すすんでいくようにみちびきます。



51. 生活改良普及員は、よりよい仕事ができるよう常にほげます。



52. 私たち普及員は、地区の実情を知り、その上につつグループや部落に対する働きかけを計画的にすすめるため、地区普及所で、実際活動の月別の計画をたてます。
そして一つの問題を解決しながら、その結果をみとどけて、次の問題へと順を追って発展させていきます。



53. 私たちは、ただ話をきかせるだけでなく、実物を通してよりよい生活を指導します。作業衣も、実際に着てみることで、講習会にも役立たせるために、働きやすい作業衣の実物見本を作ります。



54. 地区での普及活動の中で、普及員が自分一人では解決できない問題がある場合は、専門技術員に相談します。
農家の人たちと、どのように取り組めばいいとか、会合の持ち方はどうするかとかいような普及のやり方についての問題は、普及方法の専門技術員に相談します。



55. 作りおきのできる保存食が、どのくらい保存できる期間があるかとか、カマドの熱は何割くらい役に立つかというような、生活の技術上のことについては、展示実験室にいる専門技術員に相談して、その実験の結果について教わります。実験の結果がはつきりしたものは、きまつた展示日に、一般に公開されますので、この機会に普及員はグループ員をつれて見学にきます。



56. 私たち普及員の中で、同じ問題をもつた者同志が、展示実験室に集り、生活技術の専門技術員から技術を学び、それがしつかり身につくまで実習をかさねます。



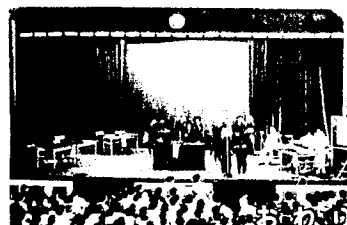
57. 私たち普及員は、各地区や、地方ごとに研修会をもち、常に新しい知識や技術を身につけたり、互に体験の交換をして、自己の仕事を反省する機会としています。グループ育成について、普及員はどのように援助の手をさしのべるべきかというような問題も、五、六人位でグループになって研究します。



58. 研修会では、作業に適した作業衣についても、その型や、防水の仕方などについて、お互いに意見を出しあつたり、実物を着てみたりして研究しあいます。また、地粉を使ったパンの焼き方やそのおかずの作り方なども、みんなで納得のいくまで、実習しながら研究します。



59. さて、こうして明るい農家生活をきずくために、活動する生活改良普及員は、いま全国におよそ千五百人いますが、その普及員にとつて、一番のよろこびはどんなことでしょうか。それは、農家の人人が、一つの改善を実行して生活の中でそれを役立てているのをみた時です。また、いままで人前でものをいえなかつた人たちが、自分の考えをはつきりいえるようになったりする、成長した姿にふれたりした時は、心の底から自分の仕事に喜びを見出します。



60. おわり。

ビデオ『明日をつくる人々』スクリプト

¹	分・秒	画 像	説 明
1	0:09	県政フィルム 県政ニュース No. 2 4 白黒ボジより 完成年度 S・3 2	
2	0:17		高尾野町の一部落で起こった婦人達の活動はみじめな農村の生活から脱皮し豊かな農村の建設をめざして、先ず家族計画、受胎調節グループを結成しました。
3	0:35		このささやかな活動が地域活動へと発展し、明るく住みよい健康な村をつくりあげようとしています。この映画はこうした活動が県内に拡がることをめざして製作したものです。
4	0:53	タイトル：明日をつくる人々	BGM スタート
5	1:02	企画撮影：鹿児島広報文書課 監修：鹿児島衛生部 編集・録音：日本映画新社 昭和 32 年度 後ろは S L 列車が走っている。	-
6	1:18	駅に S L 電車が入ってくる。ホームにいる数人の人々。女性 2 人は、天秤をかついでいる。	-
7	1:28 1:38	駅の表示 高尾野町 野田郷 西出水 農村風景。 畑を桑で耕す老人と女性。	鹿児島県の北部、熊本県に接している出水郡。その中央部に高尾野町があります。そのまた北部に、とびとびに点在している 3 つの部落があります。この地区は、戸数 214 戸。水田がわずかに 3 枚。収入が少ない畑作地帯でしたから、農閑期には他に仕事を求めて働きに行かなければなりませんでした。あとに残った人は、それは老人と婦人だけでしたから、婦人の労働は過重になっていました。
8	2:11	風にゆれる木々、畑、農家の風景。	-
9	2:16	山々や畑の農村風景	-
10	2:20	農作業を終えてとぼとぼと歩く親子。背中に赤ちゃんを背負い、2 人の子どもの手をひき、横にはもう一人子どもがいる。すれ違う一人の桑を持った女性とお互いに会釈しあう。すれ違った後、女性は立ち止まって振り返るが、去っていく。子どもを連れた母親が突然しゃがみこむ。かけよる女性。	あぜ道をとぼとぼと帰っていく親子。疲れきった母親。来る日も来る日もただ働くだけの、せいっぱいの生活。これが農村の姿なのです。
11	2:47	居間でノートに日記をつづりえさん。 囲炉裏に、やかんがかけてある。 ある農家の居間。囲炉裏で煙草を吸う父親。横のちゃぶ台で 5 人の子どもと母親が食事をしている。	りえさんは、今日の出来事を日誌につけながら、暗い農村の生活、そして過去の幾つかの不幸な出来事が次から次へとりえさんの頭をかすめていきました。これといって産業のない私達の村、多くの人口をかかえて苦しい生活を続けているのです。

1	分・秒	画 像	説 明
12	3:13	居間の囲炉裏の横に座っている父親。土間で食事の後かたづけをしている母親が倒れる。父親が駆け寄る。父親が抱きかかえるが、意識を失っている母親。茶碗が割れて飛び散っている。	-
13	3:34	診察する医者。病院のベットに寝る母親。医者が脈をとっている。母親の様子をみている医者。	-
14	3:50	横で手を合わせて心配そうに寄り添う父親。	-
15	3:57	ベットを囲んで医者（1名）、看護婦（2名）、父親。看護婦の一人は母親の足をさすっている。	-
16	4:02	懐中電灯で目を照らした後、医者はマスクをはずし、頭を横にふる。横に看護婦。	-
17	4:17	手をあわせてふるえる、そしてベットに泣き崩れる父親。	この人も多産と過労。そして農村にありがちな衛生知識の乏しさが原因でした。
18	4:23	日記をつけるりえさん。	
19	4:30	自転車をひきながら歩く保健婦さん。横には、桑を持って歩く女性。	この不幸な暗い農村の生活を明るくしたいという決意を友達に打ちあげました。村の保健婦さんも協力してくれました。
20	4:41	農作業をする男性。会釈しながら、横を通るりえさん達。	りえさん達3人の活動が始まりました。
21	4:51	自転車をひいて、着物を着たりえさん達。女性に声をかけ、話をする保健婦さん。	-
22	4:57	脇では夫が農作業をしている。手を止めて怒鳴る夫。	まず、受胎調節グループを作りましょうと呼びかけました。主人は、けんもほろろに怒り出す始末。とりつくしまありません。
23	5:12	家の中から縁側に出てくる女性（赤ちゃんを抱いている）。縁側には子どもが一人座っている。お互いに会釈。説明する保健婦さん。頭を下げるりえさん達。	次の農家を尋ねてこんなみじめな生活を改善するために、受胎調節グループをつくりましょうと呼びかけました。
24	5:27	次の家。女性はなるほど、というように3人の説明に聞き入っている。姑がそれを遠くから厳しい目で眺めている。	ここでは理解をしてくれたようでしたが・・・。
25	5:31	姑がどなり、障子を大きな音で閉める。	「この忙しい時に何の話かい。子どもは授かりもんだよ。」
26	5:40	自転車をひく保健婦さんと歩いているりえさん達。	しかし、この人達の努力も実を結ぶ日がきました。
27	5:55	家から出てくる二人の女性と挨拶をしい、自転車をひいた保健婦さんを囲んで談笑するりえさん達。	いよいよグループ活動の組織をつくるまでこぎつけました。
28	6:06	集まっている女性達。輪になって畳に正座している。着物を着てメモを持った女性達。保健婦さんが話をしている。	保健婦さんの声。 「・・・実行に移したいと思いますので、今晚は保健婦のくぼたさんにおいでを願ったわけでございます。」

1	分・秒	画 像	説 明
29	6:45	別の保健婦のくぼたさんが器具の説明。	「器具の説明を致します。これがペッサリー、これがゼリーですね。これが、コンドーム（それぞれを持ち上げて名前を呼ぶ）。おわかりになりましたか？」
30	6:25	女性たちはメモをとる。 着物を着ている3人の女性。	-
31	6:24	畑を耕す4人の女性達。モンペを着て、 白い手ぬぐいを被っている。	ここに「千間山地区」のグループ活動が生まれました。こうして芽生えたグループ活動が婦人会でも取り上げられ、「ありがとう」「たいこばし」へと結成されていきました。
32	6:43	自転車に乗って来る実地指導員（女性）。	実地指導員の労を厭わず、農家を尋ねて相談に答え、薬品などを届けてくれましたので、農家の人達の悩みであった薬品や器具の購入も解決していきました。
33	6:55	縁側で薬品を出して手渡す。 頭を下げながら受け取る女性。	-
34	7:05	箱を眺める女性。手元には薬品。	-
35	7:10	それをにこやかに見る女性（姑）。	-
36	7:12	沢山の鶴が空を舞う。	-
37	7:21	舞い降りる鶴。	そして1年。鶴の群れが訪れる頃には、このグループ活動を組織的な地区活動にしていきたいという機運が湧き上がっていました。
38	7:33	役場の門。中に入って行くりえさん達 2人。	-
39	7:35	役場。丸いテーブルを囲んで話す、役 場の人達とりえさん達。説明をして頭 を下げているりえさん達。	りえさん達はみんなを代表して役場を訊ね、是非、衛生講習会を開いてもらいたいと陳情しました。
40	7:51	学校の会場（体育館）沢山のりえさん達。	みんなの熱意が身を結び、農村における母子保健、栄養問題、環境衛生の改善をテーマにした講習会が開かれました。
41	7:58	前にたって挨拶をする男性。	
42	8:03	参加者は女性ばかり。	-
43	8:10	講習会では栄養士が栄養バランスの グラフ（円グラフ、棒グラフ）を提示 しながら説明。 正座をして講習を聞く女性達。 洋服の人と着物の人と半々ぐらい。 壇上で説明をする栄養士。	栄養士さんの説明。 「私達はそのいつも栄養、栄養と言っているわけなんですけれども、栄養と言うと何か程遠い夢の世界のような感じがしまして…。それとお金がかからないければ、栄養改善、食生活改善は出来ないではないかというような頭があるんです。やってみますと、あの案外出来やすいんですけれど、やるまではなかなか、まあ皆さんの努力がいりますし、やはり、それは婦人会の組織の力ということが盛んに言われていますけれども、やはり何と申し上げましょうか。組織の力、グループの力でもってやらなければあるいは出来にくいんじゃないかと・・・。」
44	8:50	フランネルグラフを使って説明する 栄養士さん。	栄養士さんは農村にありがちな偏食の結果や農村にある手近な材料を使った料理の仕方、そして正しい食事の組み合わせをわかりやすいフランネルグラフで説明してくれました。
45	9:05	聞き入る女性達。	-
46	9:10	衛生講習会の看板。 講習終了後、会場から出てくる女性 達。	この講習会はお母さん方の次の活動への足がかりになったようです。
47	9:19	会場から出て行く多数の女性達。	-

1	分・秒	画 像	説 明
48	9:26	高尾野町母子愛育会の看板	ここに3つの地区全員が加入する高尾野町母子愛育会を結成しました。
49	9:34	集まった女性達。その前で挨拶をする男性。聞き入る女性達。	男性の声 「…講習衛生の向上、国民の知の増進、ひいては生活向上をはかることを目的としております。ただいまご協議に頂きました実践項目を読み上げて頂きます。松山さん、どうぞ。」
50	9:57	一人の女性が前に立つ。読み上げる女性。	-
51	10:01	実践項目 母子衛生についての衛生知識を広めましょう。 定期健康診断と母子相談を行いましょう。 環境衛生を改めましょう。 栄養改善をすすめましょう。	母子衛生についての衛生知識を広めましょう。 定期健康診断と母子相談を行いましょう。 環境衛生を改めましょう 栄養改善をすすめましょう
52	10:14	拍手をする女性達(椅子に座っている)	-
	10:20	中断	-
53	10:25	定期健康診断に並ぶ人々。レントゲン車に乗り込む女性達。	まず、実行に移したのは定期健康診断でした。そして、総会で決められた実践項目が、月々の事業計画に従って実行されていきました。
54	10:44	胸部のレントゲンを撮影する女性 働く男性技師	このことから一般の集団検診を進んで受けるようになりました。
56	10:51	次々とレントゲン車から出てくる女性達。	-
57	11:01	赤ちゃんをおぶった女性が集まってきた。テーブルにはユニセフミルクと書かれた箱。	今日は赤ちゃんの健康診断日。この日はユニセフミルクも分配されます。
58	11:10	白衣と白い三角巾をつけた女性2人が調理している。テーブルの上に鍋やコンロ。聞き入る女性達。子どもも来ている。ミルクを秤で計ったり、鍋のミルクをかきまわしている。	同時に保健婦さんは手をとって調理法を指導しています。
59	11:17	背負った赤ちゃんをあやししながら、ミルクの調理法の実践を見ている女性達。ボールで少量のお湯もしくは水で粉をといて鍋にあけたり、秤でミルクをはかる保健婦さん達。	こうした心遣いが、農家のお母さん達には大助かりです
60	11:26	見つめる女性達。	-
61	11:34	火にかけてお鍋にボールでといたミルクをあけてかきまわす、おたまでミルクを秤の上の缶に入れるという一連の作業を続けている。	-
62	11:40	そのテーブルの横には母子検診所の看板。その奥に千間山公民館の看板。赤ちゃんをおんぶ、抱っこした母親達が次々と中へ入っていく。	-

1	分・秒	画 像	説 明
63	11:45	中には、テーブルが並び、役場の人らしき人が座っている。用紙に記入する母親。	赤ちゃんの健康診断は、部屋一杯の赤ちゃんで大賑わいです。月々行われる健康診断は、育児の知識に乏しい農村のお母さん達の勉強の日でもあります。
64	11:54	秤の上に赤ちゃんを載せて体重測定。聴診器を赤ちゃんの胸にあてる医者。	
65	12:15	赤ちゃんをおんぶして、帰宅する4人の母親達。	また、みんなと話し合いのできる楽しい一日でもありました。
66	12:28	夜8時をさす、大きな柱時計	-
67	12:30	子どもとパズルをする母親。	夕食後のひととき、お母さんはかわいい子どもの月々の身長・体重など検診の結果を母子手帳に記入しています。
68	12:45	居間で母子手帳に記入する母親。それを覗き込む父親。そして、赤ちゃんをあやす父親。	こうしたことに無関心であった主人も関心を持つようになりました。
69	13:00	ちゃぶ台をかこんで、新聞を読む父親（時々、赤ちゃんに目をやる）、赤ちゃん、母子手帳に記入している母親。	-
70	13:13	母親達と子ども達が道の角に次々と集まってくる。見送られて道を歩く子ども達。手にはお弁当。	農繁期の季節委託所もお母さん達の力で誕生しました。喜び勇んで出掛ける子ども達。
71	13:32	手をふる母親2人と振り返りながら手を振る子ども達5人。手をつないだりした子ども達が歩いていく。	-
72	13:43	オルガンをひく先生。「むすんでひらいて」の曲。大きな輪になってオルガンの音楽に合わせてお遊戯をする子ども達。先生も2人いる。	男性の声で放送が入る。「…今日は清掃日です。保健所や町役場の衛生班の方々も応援に来て下さいます。皆さん、今日は清掃日です。」
73	14:18	集まってくる村人。	蚊やハエのいない村。そして伝染病も起こらない住みよい健康な村の建設に皆の力が結集されて清掃が始まりました。
74	14:33	シャベルでどぶさらいをする男性、竹ボウキで道路清掃をする女性達。	-
75	14:39	青年団は竹やぶきり。はしごを使って竹やぶを切る男性4人。切られた竹やぶを拾い束ねて運ぶ女性（モンペ、日本手ぬぐいを被っている）。	青年団は蚊の住みかである竹藪切りを受け持ちました。
76	15:16	機械を押して各家庭を訊ねる保健所員と村人らしき男性。	保健所の応援で家屋内の消毒も一斉に行います。
77	15:25	保健所員が家の外から機械で噴霧。保健所員は白衣、手袋、帽子を身につけている。	-
78	15:43	道を竹藪で掃く女性達（全員一列）。モンペに白いエプロン、手ぬぐいを被っている。	こうしてこの村からは昔の面影がしだいに消えて、活気にあふれた豊かな農村に生まれ変わったのです。
79	15:50	台所に立つ女性。農家の改良された台所。タイル張りで綺麗にかたずいている。	便利になった台所。
80	16:07	カマドに燃料を入れる女性	-
81	16:13	台所には花が飾ってある。	-

1	分・秒	画 像	説 明
82	16:16	台所にテーブルと椅子があり、そこでご飯を食べている父母、姑、子ども3人。	楽しいお昼のひとつ。午後の農作業も計画どおり進んでいくことでしょう。
83	16:32	梅の花	-
84	16:40	苗木を刈る女性達。	梅の花の咲く頃ともなると、ここ特産のいずみ苗木の出荷が始まります。
85	17:44	桑で苗木を刈る女性達。後ろの方では、畑を耕す女性2人。	-
86	16:50	手早く苗木を束ねる女性達。	健康そのもののお母さん達。苗木をほる手も力強く弾みます。
87	17:00	苗木を肩に積んで運ぶ女性や男性。	-
88	17:21	トラックに積む男性達。	農村の一部落に発足したこの活動は、明るい農村の建設を目指してやがて県内にひろがっていくことでしょう。
89	17:30	走り去るトラック2台。	-
90	17:46	タイトル「明日を作る人々 終」	-

ビデオ『生活と水』スクリプト

¹	分・秒	画 像	説 明
1	0:13	タイトル等	『生活と水』 企画・製作：岩波映画製作所 後援：厚生省
2	0:33	農村風景	
3	0:45	水路の湧き水	これは、水の話です。水は空気と同じように豊かに恵まれていると考えられるかもしれませんが、しかし、果たしてそうとばかり言えるでしょうか。
4	1:04	屋根。村の俯瞰図。	
5	1:11	漁港。一隻の漁船が入り江から沖へ出て行く。	ここは、日本海に臨む小さな村です。
6	1:18	漁港の風景。バケツ。	浜辺にある船や網、たくさん干してあるイカ、どこの漁村でも同じような風景ですが、ここではどのうちへ行ってもバケツか桶と天秤棒が目につきます。みな水汲みの道具です。そして、水汲みが女の人の毎日の仕事の一つです。
7	1:37	一人の女性が天秤棒の両端に桶をぶら下げて、石段を登ってくる。	朝は早くから桶を担いで出かけていく姿が見られます。
8	1:47	水の流れるトイの前に集まる女性たち。	村の中できれいな水が出るのはここだけなので、随分遠くからも集まっています。
9	1:55	石段に列を作って並ぶ女性たち。文句を言っている。	
10	2:00	トイから石の桶に受けた水を柄杓で汲みだす女性。	みんな早く汲みたがっていますが、山から竹のトイで引っ張ってきたわずかな水ですから、なかなか拉致があきません。
11	2:07	少女、女性が天秤棒で水を担いでいく。	
12	2:16	赤ちゃんを背負った女の人が水を担いで家に戻ってくる。桶をおいた女性は、次にお米を釜に移す。	男の人たちは海へ行くので、女の人たちの仕事はいっぱいあります。
13	2:38	土間に座り込んだ女性が、かまどに薪をくべている。	
14	2:45	急斜面で菅笠をかぶって働く女性。草取りをしている姿のアップ。	山の中を耕して畑を作っているのも、みな女の人の仕事です。
15	3:00	竹籠に衣類を入れて歩いていく手ぬぐいを被った女性。	しかも、仕事の合間をみても洗濯にも行かなければなりません。洗濯も水がないので、10 町も離れた隣村まで行ってしています。
16	3:13	たまり水のところで、足を使って衣類を洗う少女と、手で洗っている老女。	
17	3:26	家に着いてかごを置いた女性が、土間から天秤棒と桶を運び出す。	夕方、一日の仕事が終わって家に帰ると、すぐ行かなくてはならないのは、また水汲みです。明日の朝までの分の水を汲みにいきます。
18	3:43	水でいっぱいになったおけを体の両側にぶら下げて、石畳を歩いていく女性のはだしの足。	こうして毎日毎日桶を担いで歩く距離は、合わせたらどんなに長くなることでしょう。
19	3:55	住宅街の人通りのある通り。電信柱。自転車ですれ違う男女。	もっとにぎやかな町にも違った悩みがあります。
20	4:02	通りのアーケード。通りをバスが通っていく。	この新潟では、井戸水が悪いのでとても水に困っています。
21	4:11	水路の両脇に集まる女性と子供。何かを洗っているらしき人も。	町の裏通りを流れている水が、この地方の言葉で“ど”と呼ばれて町の人々の生活を支えています。

1	分・秒	画 像	説 明
22	4:16	水路の脇に通りから数段低くなった、屋根つきの洗い場がある。女性が二人、洗い物をしている。	この“ど”には、至る所に洗い物をする場所が作られています。
23	4:24	しゃがみこんで、ネギを洗っている女性。	中には、台所が水をまたいで作られているところさえあります。
24	4:30	”ど“の洗い場で洗い物をする女性の脇にかかっている端の上を、馬を引いた男性が通っていく。	しかし、“ど”を流れているのは、実は田んぼの用水の余り水なのです。
25	4:40	田んぼの隣の水路。	町から少し流れの上に行くと、田んぼになります。
26	4:46	水路の中に馬と一緒に入って、馬を洗う男性。	そこでは、この水で馬を洗っていることもあります。
27	4:51	水路の中で脛を洗っている男性たち。	泥足も洗います。
28	4:55	桶や鍬を洗う女性たち。	肥やしの桶も洗っています。
29	4:58	“ど”に注ぎ込む排水。上方に高い煙突が見える。	この“ど”に流れ込むのは、田んぼの肥やしや泥水ばかりではありません。
30	5:05	銭湯の洗い場を掃除している男性。	風呂屋の汚れ水も流れ込んでいます。
31	5:16	下水溝。	
32	5:25	“ど”の側壁。流れ込む排水。	学校の便所から染み出た水も混じることがあります。
33	5:33	流れ込む排水のすぐ隣の勝手口で、釜の中のお米を研いでいる女性。	見ただけでどす黒くにごり、淀みながら流れているこの水のほかに、町の人たちが使う水はありません。
34	5:38	“ど”の洗い場にうどんを洗いに来た女性。うどんを洗っているざるのそばをきゅうりが流れていく。	
35	5:45	食器を洗っている女性の手元にも、何かが流れていく。	一旦、流れの上で赤痢が出たら、次々に下にまでうつっていきます。時には、コレラまで出たのも、みなこの水のせいなのです。
36	5:58	“ど”の洗い場でままごと道具を洗う少女たち。	
37	6:04	橋の袂に寄せられて溜まってきたゴミを鋤でかき上げている。	方々の家で捨てたごみも混じって、下へ行くほどものすごくなります。
38	6:10	女性が“ど”の水をバケツでくみ上げ、コンクリート製のろ過装置にかけている。ろ過された水はヤカンに入れている。	飲むときは、こしてから飲みますが、少し色がよくなるだけで、ばい菌は取り除かれはしません。
39	6:20	農家の入り口。	しかし、こういったことは決して珍しい話ではありません。
40	6:29	農家の台所。土間で木製のお風呂に入っている男性と上がりがまちに腰掛けた男性が向かい合って談笑している。隣で、年配の女性がまな板の上で漬物(?)を切り、若い女性がお盆に湯呑みをたくさん載せて立ち上がる。	ここでも、水を汲むのが大変なので、なかなかお風呂が立てられません。一度、お風呂をたてると近所の人をみんな呼びます。
41	6:42	縁側に腰掛けてお風呂に入れるのを待つ女性たちに、先ほどの女性がお茶を出す。	
42	6:45	男性たちは、座敷で談笑している。	
43	6:50	お風呂につかり、手ぬぐいで顔をぬぐう男性。	30 人も人がやって来てはいるのですから、お風呂はいつもどろどろになってしまいます。

1	分・秒	画 像	説 明
44	6:59	畑の隣の水路脇で湿らした手ぬぐいで赤ちゃんの顔を拭く女性。隣で顔を洗っていた男性が立ち上がる。	朝にはみんなで田んぼの流れに顔を洗いに行く村も、たくさんあります。
45	7:06	畑の脇の水路の流れに沿って、多くの人が一列に並んで顔を洗っている。	井戸水が乏しいので、豊かに流れる水の方が気持ちが良いのです。
46	7:10	水路の脇の石の祠。	3尺流れれば、水の神様のおかげで水はきれいになると言っています。
47	7:20	手押しポンプで水をくみ上げる女性。	一つの共同井戸に30軒以上の人々が頼っているところがあります。
48	7:25	バケツや桶を持って並んで待つ女性や子どもたち。	ある大きな都会のすぐ近くです。日本の多くの場所で水は、決して豊かに使われているとはいえません。
49	7:50	水がめいっばいに張られた水。	しかし、こうして苦心して汲んできた水もいつも安心して使えるとは限りません。
50	7:59	顕微鏡で拡大された寄生虫（繊毛虫・線虫）	顕微鏡で見ると、肉眼では分からない小さい生き物が水の中に混じっています。
51	8:30	大腸菌	これは糞便に混じってでた大腸菌です。こういった水を知らないで飲むと、病気にかかってしまうかもしれません。
52	8:44	丘に囲まれたダム湖。	こういう不便や不幸と戦うために作られたのが近代的な水道です。
53	8:53	浄水設備。	貯水池や川、深い井戸から取り入れられた豊かな水が浄水場に送られます。
54	9:06	浄水設備。	浄水場は、人が使っても安全なように水をきれいにするところです。
55	9:15	浄水設備。	そのために長い時間かけて、濁りを取ったり、砂で濾したりします。
56	9:20	機械のメーター類。	そして外から汚されないところに溜めておきます。その上、塩素やさらし粉でばい菌を殺します。
57	9:44	濾水と原水の入った二つのピーカー。	水がどんなに変わったか。右にあるのがきれいにされた水、左側が元の水です。
58	9:48	顕微鏡で拡大された微生物。	元の水にはいろいろなものが混じっています。
59	10:00	原水のピーカーからスポイトで水を吸い上げ、シャーレに移す。	
60	10:08	バクテリアの仲間	24時間もすると、こんな群れにまで増えるほどです。
61	10:15	濾水と透明なままのシャーレ	しかし、きれいにされた水では、こういうものは除かれています。
62	10:20	大きなモーター。パイプ。電車。	きれいにされた水は、どんどん人々の家に送られます。
63	10:35	蛇口からの水でピーカーや手、お皿、ナスを洗っている。	
64	10:40	煙突を背景に湧き上がる噴水たち。	水道は、また工場にも大量の水を送っています。
65	11:05	焼けた鉄パイプがシャワーのように降りかかる水で冷やされている。	これは焼けた鉄パイプを冷やしているところです。
66	11:10	消化器伝染病にかかった人の数（1万人当たり） 水道のない市町村：17人 水道のある市町村：7人	このグラフは、水道が人間の暮らしを守ってくれることを表しています。水道のないところでは、赤痢や腸チフスにかかる人の数が、水道のあるところの倍以上です。
67	11:27	田んぼの横の水道で男性が鍬を洗っている。	こういう水道は、今まで、大きな都会だけが持っていると考えられてきました。

1	分・秒	画 像	説 明
68	11:35	田んぼの真ん中にある小さな配水小屋。モーター。KM式簡易水道滅菌器。	しかし、最近、幾つかの村が規模は小さくても、整った水道を作りました。愛知県のこの村もその一つです。
69	11:48	井戸	鉄分の多い水しか出ない井戸は、捨てられました。
70	11:52	家に着き頬かむりを採った女性が、タイル張りの蛇口のある流しに立つ。	水道が、どこの家でも女の人の仕事を助けています。
71	12:00	水道のある台所で、女性を手伝う少女。	この村では、水道が引かれたのをきっかけに、台所の設備を仕事のやりやすいように作り変えました。
72	12:05	タイル張りの改良かまどにわらをくべるところ。	かまども、短い時間で燃料が少なくて済む、改良式に作りかえました。
73	12:11	木のテーブルを囲む家族に食器を運んでくる母親。	食卓も、腰かけ式に直されています。
74	12:17	屋根の上に温水器を取り付けている男性。温水器に水が注がれていく。	屋根の上でできたのは、太陽の熱で水を温める装置です。朝、ここに水を上げておくと、燃料をあまり使わないで、お風呂に入れます。
75	12:33	脱穀機。むしろのようなものを編む織機。子供たちも手でみもののようなものを編んでいる。	そして、今までは燃料にしていた、麦わらや稲わらを使って、いろいろなものが作られています。
76	12:43	水の栓をひねって、田んぼに水を入れている男性。	夏、雨の少ないときには、水道の水を田んぼの灌漑にも回しています。
77	12:52	鶏舎。水道から竹のトイに水が流れていく。	鶏小屋には、いつもきれいな飲み水が流れるようになっています。
78	12:58	牛の体をホースの水で洗っている男性。	
79	13:05	お風呂に水をはる少女	もともと、共同して生活を良くしようとしていたこの村の人々にとって、水道が大きき力になったことは確かなようです。
80	13:19	日本全国のうち、市に住むものは、3200万人、町村に住むものは、5200万人、水道のある市には1800万人、水道のある町村には、150万人。	日本は今まで水道の少ない国でした。
81	13:51	ポーリングなど、水道工事の様子。	しかし、戦争が終わってから新しい水道の工事が方方で始められています。
82	14:25	境内で口の字型になって集まっている人々。	この村では、仕事を始める前の相談が、神社の杉林の中で開かれているところです。
83	14:30	集まった男性たち。	大勢で、どろどろの風呂にしか入れなかったお百姓さんたちは一生懸命です。
84	14:40	集まった消防団の人たち。	消防団の人たちは、水が足りなくて村の半分を焼いてしまった火事のことを話しています。
85	14:45	集まった女性たち。	家庭で働く女の人たちも、出席しています。
86	14:52	テーブルの上に試験管やフラスコを並べる白衣の男性たち。	県の衛生部や保健所の技師たちも相談に加わっています。
87	14:56	テーブルの上に白い模造紙に書かれた図面と定規を置き、話している男性。	水道をひくためのお金の半分は、国と県が持ちます。
88	15:05	神社の周囲の杉林。	村の出さなければならぬ分のために、この杉林のいくらかを売る案も考えられています。
89	15:16	方にシャベルとつるはしを担いで、家を出てくる男性。	この村ではもう仕事が始まっています。

1	分・秒	画 像	説 明
90	15:26	シャベルとつるはしを担いだ男性が、かごを担いだ女性たちとすれ違う。道の脇に手押しポンプ。	前には田んぼの中の川で顔を洗っていた村の人たちですが、ひと夏に70人も赤痢にかかるようなことが続いて、水道はぜひ欲しいとみんな考えました。
91	15:45	先ほどの男性が山道に行く。	しかし、費用が十分でないので、とにかく自分たちで仕事を始めています。
92	15:50	傾斜地に一列に並んで溝を掘る男女。	
93	16:15	溝の中にしゃがんで、パイプの継ぎ目のボルトを締めている男性。少し向こうでは、数人で水道のパイプに土をかけて埋め始めている。	長野県の山にあるこの村では、いよいよ仕事が完成に近づいています。
94	16:23	家に向かって溝を掘る男女。	村の本道には太いパイプが埋められ、そこから人々の家へ給水管がつながれていきます。
95	16:27	蛇口の取り付け口を溶接する男性とそれを見守る女性たち。奥の男性は何かを絞っている。	
96	16:40	鶏舎の近くに給水管を立て、蛇口を取り付けようとする男性。	給水管の引かれた家には、蛇口が取り付けられていきます。
97	16:45	馬小屋の脇の蛇口。(奥に囲炉裏。家屋内の馬小屋。)	馬小屋の近くの流しにできた蛇口もあります。
98	16:50	小川の脇に据え付けられた蛇口。	もと使われていた小川の洗い場の上にも蛇口ができました。
99	16:58	水桶からあふれる水。洗い場(?)につけられた蛇口。	
100	17:03	屋内の台所に据え付けられた(高い)蛇口。公園のブランコに乗る子供たちとそのそばの蛇口。	いよいよ蛇口から水が出るようになれば、きっと生活はきれいになり、仕事はやりやすくなるでしょう。
101	17:11	水道管の一方を(?)絞っている男性。石のお風呂に取り付けられた蛇口。洗い場の床も壁もタイル。	お風呂を新しく作っている家もあります。
102	17:23	木製の橋の脇に、枠で覆われた水道のパイプが通っている。	
103	17:30	溝の底のパイプに鍬で土をかけていく人々たち。	一方、山の上では水源の工事が終わりに近づいています。
104	17:46	小川の湧き水	きれいな湧き水がここで集められ、したの浄水場に送られ、
105	17:50	コンクリート製の柵に木製の蓋を取り付けている男性たち。	そして、1200人の村民と250戸の蛇口にまで届くのです。
106	17:57	水道パイプの継ぎ目のボルトを締める男性。	この村の人たちにとって、水道を引くことは25年も前から望みだったのですが、その望みのかなう日はすぐです。
107	18:07	手押しポンプの周囲に柵が作られ、その中にしまわれた手押しポンプ。その脇に設けられた消火栓。	今まで、村には古い手押しポンプしかありませんでした。これからは消火栓が村の家を火事から守るのです。
108	18:13	消火栓の実験に、両手にバケツをもって集まってくる女性たち。消火栓からほとぼしり出る水。	村のあるところでは、消火栓に水を通して試しているところもあります。
109	18:21	村の中の土道で水道工事をする男性たち。その脇を、薪や天秤棒に桶を担いだ女性たちが通り過ぎる。	まだ水汲みをしなければならない村の人たちは、一日も早く水道から水が出るのを待っています。
110	18:32	村の俯瞰図。村の通り。水路を流れる濁った水。水路上に「屋代水上流々域に赤痢...行につき當分の間用水を...ばないように注意して下さい。昭和三十七年八月屋代町長」の看板あり。	しかし、いまだに水に不自由するたくさん町や村が残っています。

ナ	分・秒	画 像	説 明
111	18:46	広い土道を向こうから救急車(?)がやってくる。その脇を、天秤棒に桶を担いだ女性たちが歩いていく。	毎年、毎年、水が元で伝染病にかかっている人が10万人もいます。人々の命の危険、生活の不便はお金に変えられるものではないでしょう。これらの損害を防ぎ、生活を明るくするためなら、水道をつくる費用や努力は決して無駄なものではないのです。
112	19:10	電柱の立つ広い土道を走り去る救急車。	
113	19:17 ~ 19:27	タイトル「終」	

参考資料

農村生活改善協力のあり方に関する研究検討会

委員等名簿

座長	佐藤 寛	日本貿易振興会アジア経済研究所経済協力研究部主任研究員
委員	安藤 和雄	京都大学東南アジアセンター助教授
	岩元 明久	農林水産省経営局普及課長
	小國 和子	千葉大学博士課程 元青年海外協力隊員 スラウヰ州村落普及員
	小山 修	日本子供家庭総合研究所研究企画・情報部長
	黒澤 啓	国際協力事業団企画・評価部環境・女性課長
	齊藤 京子	農林水産省経営局女性・就農課長
	高岡ミエ子	元愛媛県伊予農業改良普及所長（現 県立農業大学校講師）
	富田祥之亮	社団法人農村生活総合研究センター主任研究員
	西潟 範子	元新潟県西蒲原農業改良普及センター次長（現 日本農業新聞）
	水田加代子	国際協力事業団専門技術嘱託
	水野 正己	農林水産省農林水産政策研究所国際政策部長

国際協力事業団(オブザーバー)

	西牧 隆壯	農林水産開発調査部長
	成田 喜一	農林水産開発調査部次長
	川口 尚	農林水産開発調査部計画課長

農村生活改善協力のあり方に関する研究に係るワーキンググループ編成

グループ（素材発掘ワーキンググループ……有用教材の収集・選択、活用に関すること）

- チーフ：高岡ミエ子（検討会委員）
サブ：小國 和子（検討会委員）
メンバー：山本 敬子（JICA国際協力専門員）
 関 なおみ（東京都衛生局医師）
 和田耕太郎（ヘルスマネジメントコンサルタント）
 山崎 照美（日本放送協会国際放送局制作センター(地域番組)）
 兼川 千春（立教大学博士課程）
 服部 朋子（検討会事務局）
 渡邊菜穂子（国際協力銀行）

グループ（経験普遍化・分析WG……戦後日本の生活改善普及活動の経験の普遍化・分析及び国際協力への活用方法に関すること）

- チーフ：佐藤 寛（検討会委員長）
サブ：宗像 朗（アジア生産性機構・海外青年協力隊OB）
 水野 正己（検討会委員）
メンバー：小山 修（検討会委員）
 富田祥之亮（検討会委員）
 佐藤 仁（東京大学新領域創成科学研究科）
 池野 雅文（コーエイ総研）
 滝村 卓司（JICA）
 大井 央久（国際協力銀行）
 高谷 綾子（フリー）
 小笠原道明（千葉大学修士課程）

グループ（研修候補地・専門家養成カリキュラム検討WG……視察可能な農村生活改善現場(素材・人材が賦存する場所)の選定、説明可能な生活改善員のリスト化、生活改善普及協力専門家の養成に関すること）

- チーフ：西潟 範子（検討会委員）
サブ 1：渡辺 雅夫（JICA筑波国際センター・青年海外協力隊OB）
サブ 2：矢敷 裕子（千葉大学修士課程・青年海外協力隊OG）
メンバー：小林 花（JICA・青年海外協力隊OG）
 安藤 和雄（検討会委員）
 西田 美佐（国立国際医療センター）
 内田久美子（国際協力銀行）